2022 年度

Tutorial English

履修ガイド(A～D)

＜クォーター科目＞

2022 年度は「リアルタイム配信形式（オンライン授業）」にて実施

グローバルエデュケーションセンター

Tutorial English 履修者のみなさんへ

・Waseda メールをチェックしてください

WeTEC やクラス発表、補講などに関する重要なお知らせを、Waseda メールアドレス（～@xxx.waseda.jp）宛てにお送りします。履修者専用サイト『Tutorial Canvas』のお知らせと併せて必ずチェックしてください。

・パソコンの推奨環境を確認してください

レッスン期間を通じて、Tutorial Canvas や WeTEC 受験サイトを利用します。大学のパソコンを利用しない場合は、利用するパソコンが以下の推奨環境を満たしていることを確認してください。

注意事項

・利用サイトにより推奨環境が異なります。

・推奨環境範囲内であっても、ご自身のパソコンの設定によっては音声が途切れるなど、正常なサービスを提供できないことがあります。その際は、大学のコンピュータルームを利用してください。

・パソコントラブルを含む個別の事由による課題の再提出やテスト受験期間の延長・再受験は、原則として行いません。受験期間になったら早めに受験を開始し、ご不明点等については早めに問い合わせてください。

・パソコントラブルを含む個別の事由によるレッスンの遅刻・欠席等について、代替レッスンやレッスン評価の特別考慮などは行いません。

推奨環境 （2022 年 2 月 11 日時点）

パソコン	ブラウザ	Tutorial Canvas	WeTEC 受験サイト	Waseda Moodle (Collaborate)
Windows	Microsoft Edge20 以降	左記のブラウザの最新バージョンをご利用ください。	○	P.8 参照
	Google Chrome		○	
	Firefox/Opera		×	
Macintosh	Safari7.0 以降		○ (Mac OS 10.9 以降)	
	Google Chrome			

※MyWaseda メンテナンス中、上記は使用できません。メンテナンス日時は MyWaseda をご参照ください。

Tutorial English 履修者のみなさんへ

チュートリ先輩
チュートリアル科目公式キャラクター

・開講日程や締切日を確認してください

Tutorial English は、他科目とは異なる手続きやテスト受験があります。レッスンの開始日も異なりますので、以下の開講日程や、裏表紙のレッスンカレンダーをよく確認してください。

学期	日程	行事
春クォーター	P.38 参照	WeTEC（事前測定）受験期間
	4/5－4/11	実験実習料 納入期間
	4/13 夕刻	履修クラス発表日 Tutorial Canvas オープン
	4/18－5/28	レッスン期間
	5/26－6/3	WeTEC（成果測定） 受験期間 ※春クォーターのみ履修者
	5/26－6/9	授業アンケート回答期間
	6/3	Lesson 評価 問合せ期限
		特別配慮の書類 提出期限

学期	日程	行事
夏クォーター	P.38 参照	WeTEC（事前測定）受験期間
	4/5－4/11	実験実習料 納入期間（1 次登録）
	4/15－4/21	実験実習料 納入期間（2 次、3 次登録）
	5/31 夕刻	履修クラス発表日 Tutorial Canvas オープン
	6/6－7/9	レッスン期間
	7/7－7/15	WeTEC（成果測定） 受験期間
	7/7－7/21	授業アンケート回答期間
	7/15	Lesson 評価 問合せ期限
		特別配慮の書類 提出期限

学期	日程	行事
秋クォーター	P.38 参照	WeTEC（事前測定）受験期間
	9/28－10/4	実験実習料 納入期間
	10/6 夕刻	履修クラス発表日 Tutorial Canvas オープン
	10/10－11/19	レッスン期間
	11/17－11/25	WeTEC（成果測定） 受験期間 ※秋クォーターのみ履修者
	11/17－12/1	授業アンケート回答期間
	11/25	Lesson 評価 問合せ期限
		特別配慮の書類 提出期限

学期	日程	行事
冬クォーター	P.38 参照	WeTEC（事前測定）受験期間
	9/28－10/4	実験実習料 納入期間（1 次登録）
	10/8－10/14	実験実習料 納入期間（2 次、3 次登録）
	11/21 夕刻	履修クラス発表日 Tutorial Canvas オープン
	11/28－2023/1/21	レッスン期間
	2023/1/19－1/26	WeTEC（成果測定） 受験期間
	2023/1/19－2/2	授業アンケート回答期間
	2023/1/27	Lesson 評価 問合せ期限
		特別配慮の書類 提出期限

・単位取得に伴う注意点

Tutorial English は、週 2 回のレッスン時間外にも成績評価対象項目（予習・テスト受験）があります。出席するだけでは、評価ポイント数が足らず、単位を取得できません。成績評価方法について P.28 をよく確認してください。日々の積み重ねを大切にし、履修しましょう。特に注意が必要なのが、次の 2 つです。

◎Preparation（Unit 1～Unit 10 のレッスン前に課される予習課題）
◎Test Unit　（Unit 5 と Unit 10 の Test Unit を両方欠席すると単位を取得することができません。）

目　次

1. Tutorial English とは
1.1　全体の流れ 4
1.2　レベルと授業の到達目標 5
1.3　Tutorial Canvas 利用ガイド 6
1.4　Waseda Moodle 利用ガイド 8

2. 科目登録からレッスン開始まで
Step 1　科目登録 10
Step 2　WeTEC(事前測定)受験 12
Step 3　実験実習料納入 12
Step 4　履修クラス(レベル・オンラインブース)の確認 12
Step 5　テキスト購入 14

3. レッスン期間中
Step 1　Preparation(予習) 16
Step 2　オンラインブースへの入室 19
Step 3　Lesson(レッスン) 22
Step 4　レッスン評価確認 22

4. レッスン期間後
Step 1　WeTEC(成果測定)受験 24
Step 2　授業アンケート回答 24
Step 3　Final Review Sheet 確認 24

5.　WeTEC 受験ガイド 25

6. 成績評価
6.1　成績評価方法(クォーター科目) 28
6.2　出席・欠席の扱い 29
6.3　出欠席・成績評価上の特別配慮について 30
6.4　レッスンの中止および補講 30
レッスン評価ガイドライン ..... 31，32

7.　不正行為等の取扱いについて 33

8.　キャンパスマップ 36

9.　授業に関する相談・お問い合わせ 37

WeTEC 受験期間一覧(事前測定・成果測定) 38
WeTEC 受験が不要なケース、WeTEC に関するよくある質問 39
オンラインレッスンに関するよくある質問と回答(Q＆A) 40
Tutorial English Lesson Calendar 2022 ..... 裏表紙

※夏季集中・春季集中に履修される方は、「Tutorial English 履修ガイド＜夏季集中・春季集中科目＞」を参照してください。【URL】https://led.w-as.jp/guide.html

1. Tutorial English とは

Tutorial English は、2002 年に開始した英語コミュニケーション能力の向上に実績のある、早稲田大学オリジナルの語学科目です。2021 年 4 月に大幅にカリキュラム改定がされました。スピーキング力強化に焦点を当てた科目で、以下の特長があります。

● 4 人 1 組の少人数制レッスン（週 2 回）

チューター（講師）1 名につき履修者最大 4 名のクラスで、週 2 回（集中授業は 2 時限連続）授業を行います。スピーキング中心のプログラムで、短期間で英語のコミュニケーション能力が向上します。

● きめ細かなレベル別クラス編成

レッスン期間前に受験する WeTEC（Web 英語能力判定テスト）の結果を用い、細かなグループ分けを行い、ご自身の英語力に適したクラスで履修することができます。Basic～Advanced まで 4 レベルあり、ご自身にあったレベルから連続して履修することで確実にステップアップすることができます。

● 独自に開発したテキストの使用

本科目のために開発された専用のテキスト『Talk』を使用します。各ユニットに設定された Can-do という学習目標を中心に、実際のコミュニケーションに役立つ表現力と語彙力を鍛えます。

● 履修者専用サイト『Tutorial Canvas』を利用

MyWaseda 経由で、Tutorial Canvas を利用します。Preparation の解答提出やチューターからの評価やコメントの確認も、この Tutorial Canvas を通じて行います。

・本科目は担当教員のアドバイスのもと、チューターがレッスンを担当します。
・本科目は早稲田大学グローバルエデュケーションセンターが（株）早稲田大学アカデミックソリューションに運営を委託しています。

1.1 全体の流れ

レッスン期間前

Step 1. 科目登録
*選択履修者

Step 2. WeTEC受験（事前測定）

Step 3. 実験実習料納入
*選択履修者
*法学部 選択必修履修者

Step 4. 履修クラス確認

Step 5. テキスト購入

レッスン期間中

Step 1. Preparation（予習）

Step 2. Lesson（レッスン）
*Unit 5とUnit 10はTest Unitになります。

Step 3 . レッスン評価確認

Step 4. 復習（課題はありません）

レッスン期間後

Step 1. WeTEC受験（成果測定）

Step 2.授業アンケート 回答

Step 3. Final Review Sheet確認

1.2 レベルと授業の到達目標

履修者の英語力に合わせて履修できるよう 4 レベルが設置されています。
全学オープン科目（選択）履修者：ご自身で履修するレベルを選択します。レベルの判断がつかない方は、科目登録期間中に行われる「科目登録相談会」でレベルチェックを受けることができます。
必修履修者：WeTEC スコアにより履修するレベルが決定します。（WeTEC 未受験の場合、ご自身の英語力に合うグループで履修できない可能性があります。）

レベル	レベル目安			授業の到達目標	特にお勧めの対象者
	WeTEC	TOEIC	TOEFL-iBT		
Basic	354 以上	280 以上	29 以上	日常生活での身近な事柄について、自身の意見とその理由を簡単に説明し、短いやりとりができる	・基礎から英語を学びたい方 ・簡単な受け答えは出来るが、英語での会話が続かない方 ・短期留学や海外旅行の前に英語に慣れておきたい方
Intermediate	620 以上	579 以上	61 以上	抽象的な事柄や複雑な話題にも対応できるような表現力を身につけ、自身の意見を述べる際に、長所と短所を交えて説明することができる	・どんな話題にも対応できる英語力を身につけたい方 ・ディスカッションの基礎を学びたい方 ・長期留学を予定している方 ・グローバルに活躍できる英語力を身につけたい方
Upper Intermediate	800 以上	820 以上	90 以上	広範で複雑な話題についても内容を正しく理解し、目的に合った適切な言葉を使用し、流暢かつ論理的に自分の考えを述べることができる	・ネイティブスピーカーと自然に話せるようになりたい方 ・一般的なトピックについては自然なコミュニケーションを取ることができるが、複雑な話題になると、論理的に話すことが難しいと感じる方 ・留学後も英語力を維持したい方 ・グローバルに活躍できる英語力を身につけたい方
Advanced	875 以上	884 以上	102 以上	見聞きした内容のほとんどを容易に理解し、論理的に整理しながら、些細な言葉のニュアンスの違いを使い分け、非常に流暢かつ正確に伝えることができる	・言葉のニュアンスの違いや含意を把握し、ネイティブスピーカーに近い感覚で英語が話せるようになりたい方

1.3 Tutorial Canvas 利用ガイド

※Tutorial Canvas は各クォーターの履修クラス発表後(P.12)にオープンいたします。

◆ログイン方法

①MyWaseda(図 1)にログイン後、MyWaseda(図 2)のメニューにある「授業」タブをクリックし、「授業関連」の中にある「Tutorial Canvas」を選択

②Tutorial Canvas(図 3)の「Dashboard」から現在履修している科目を選択

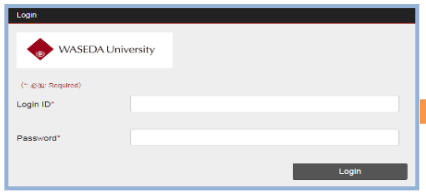


図 1　MyWaseda ログイン画面

図 2　MyWaseda「授業」画面

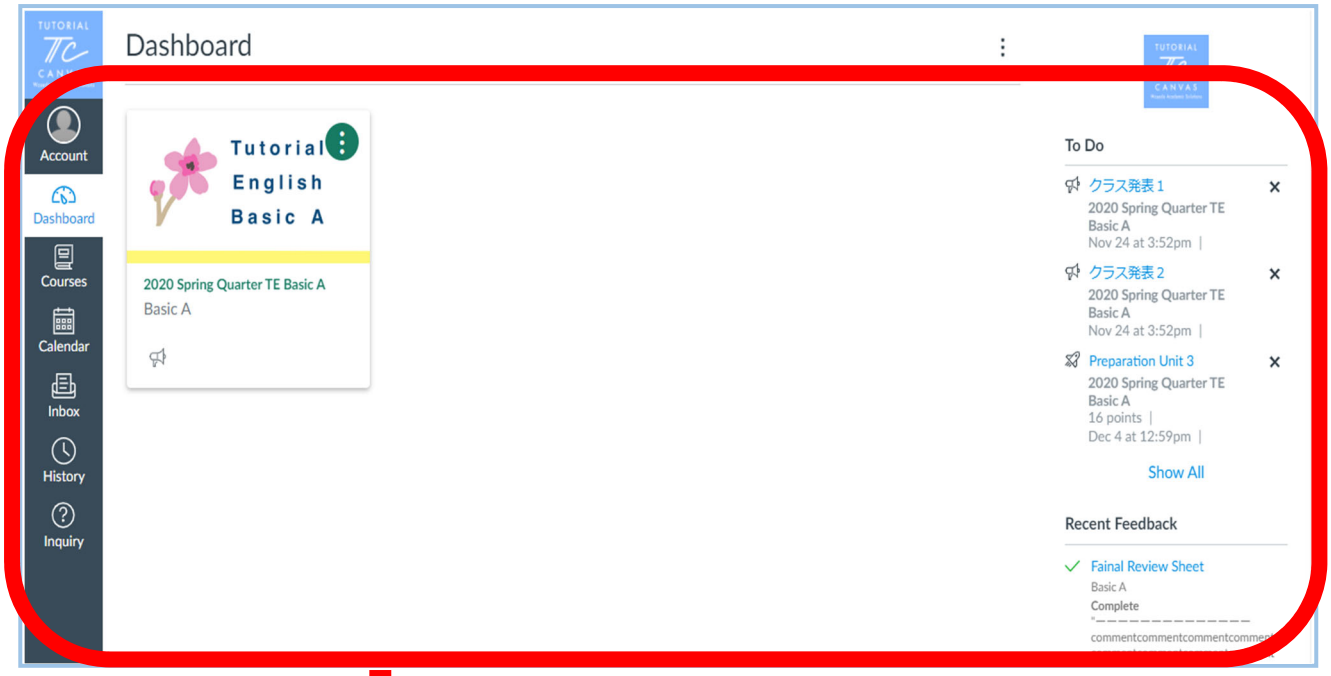
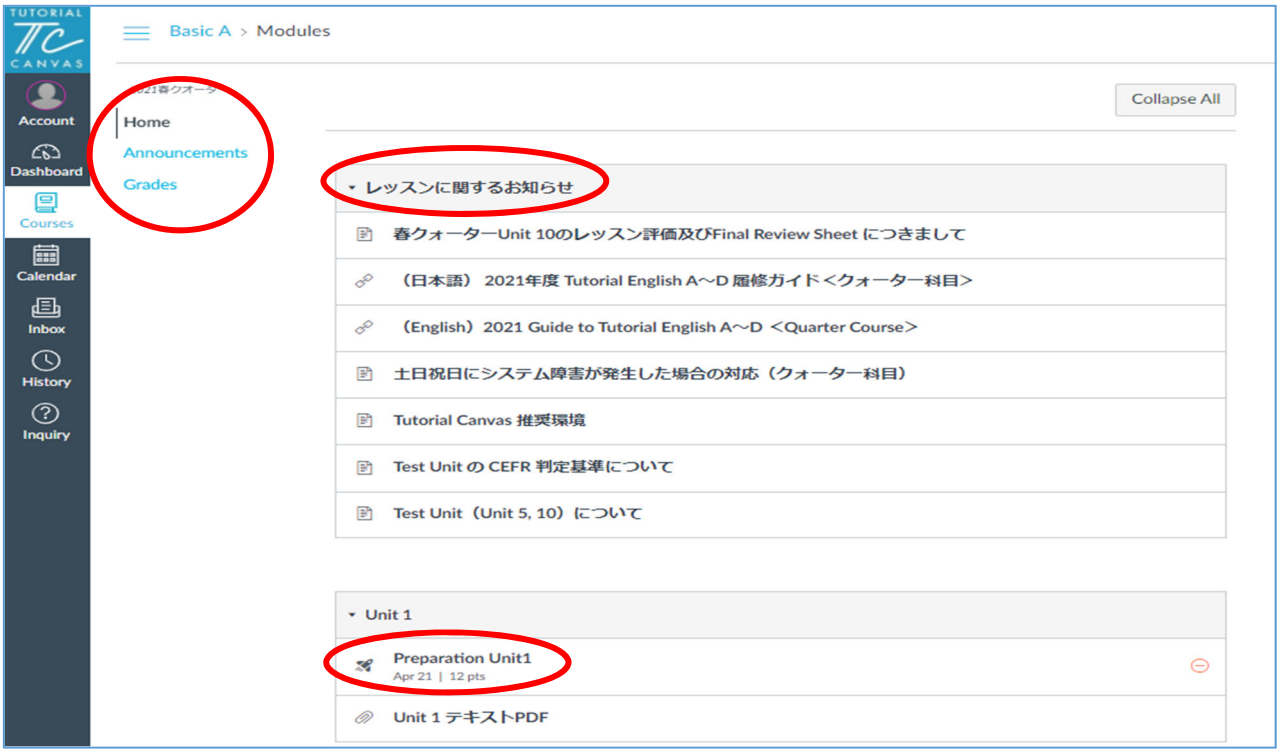
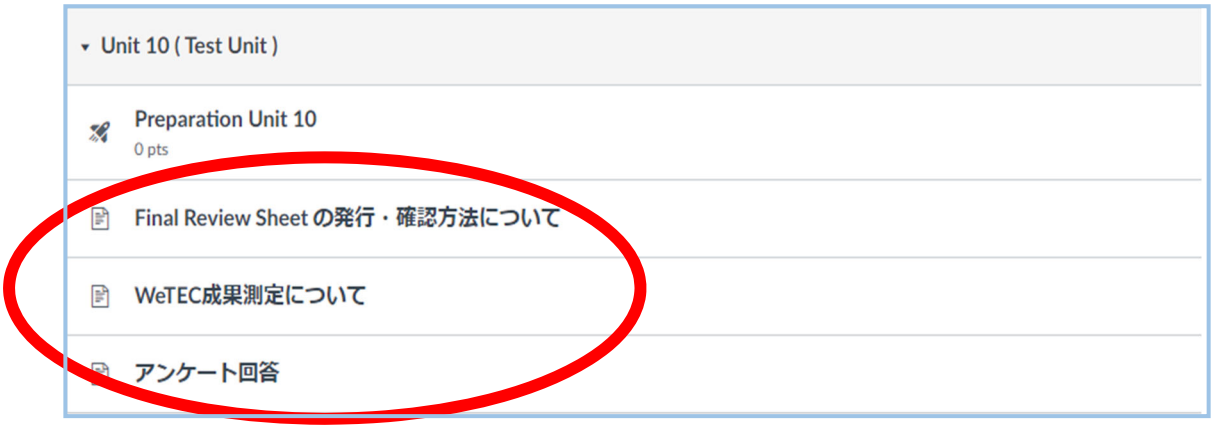


図 3　Tutorial Canvas Top 画面

主な機能		機能概要
Account	個人情報の確認	個人情報を確認できます。
Dashboard	ダッシュボード	現在履修している Tutorial English のコース画面が表示されます。ここに表示されているコースの中に入ると Preparation の提出や各 Unit の成績、チューターからのコメントを確認できます。
Courses	コース	2021 年度以降に履修した Tutorial English のコースの一覧が表示されます。
Calendar	カレンダー	Preparation の締切日を確認できます。
Inbox ※使用しません	—	Tutorial English では、本機能は使用しません。 **※Inbox、Inquiry からのお問い合わせには一切回答できかねますのでご了承ください。**
Inquiry ※使用しません	—	
To Do	お知らせ	Tutorial English に関する重要なお知らせや Preparation の期日が表示されます。

◆Course 画面





◆『Tutorial Canvas』全般機能概要

Home	コースのトップページへ戻ります。
Announcements	既読済みの Tutorial English に関する重要なお知らせを確認できます。
Grades	各レッスンの評価やチューターからのコメント、Final Review Sheet が確認できます。 ・・・各 Unit の評価を確認できます。 ・・・チューターからのコメントを確認できます。 なお、「Final Review Sheet」横にある をクリックすることで、Final Review Sheet が確認可能です。
レッスン開始前に確認する事	履修ガイドなど Tutorial English に関する情報を確認できます。
Preparation	Preparation の解答提出ができます。
アンケート回答	回答期間になると、アンケートが回答できるようになります。
Final Review Sheet の発行・確認方法について	Final Review Sheet の発行・確認方法について確認ができます。
WeTEC 成果測定について	受験期間になると、WeTEC 受験ページへアクセスできるリンクを確認できるようになります。

1.4 Waseda Moodle 利用ガイド

◆推奨環境の確認

※オンライン授業は以下のブラウザとオペレーティングシステム（OS）の組み合わせに対してのみ動作が保証されています。必ず以下の組み合わせの環境で使用してください。
（https://help.blackboard.com/ja-jp/Collaborate/Ultra/Participant/Get_Started/Browser_Support）

オンラインレッスン（Waseda Moodle の Collaborate）の推奨環境(2022 年 2 月 1 日時点)

ブラウザ	デスクトップ PC	モバイル
Google Chrome	Windows 10、macOS 10.14 以降	Android 9+
Firefox	Windows 10、macOS 10.14+	サポートされていません
Safari*	macOS 10.14+	iOS 12+
Microsoft Edge（Chromium）	Windows、macOS	Android、iOS

*Collaborate は safari15 では正常に動作しません。

※スマートフォンでは、チューターのホワイトボードや画面の表示が小さくなるなど、授業運営に支障をきたす恐れがあるため、パソコンからの受講を推奨します。

※通常の対面レッスンと同様の学習効果が得られるよう、静かな環境で受講してください。

※技術的な問い合わせは IT サービスへお問い合わせください。（※P.40 の Q4 参照）

◆ログイン方法

①MyWaseda のログインページ（図 1）にアクセスし、ログインせず、画面に掲載される「Waseda Moodle Login」からアクセス

②オンライン授業へのアクセス：（詳細は本ガイド P19～21 を参照）

Waseda Moodle（図 2）の「コース概要」から、「2022 Tutorial English オンライン授業」を選択

図 1

図 2（イメージ）

2. 科目登録からレッスン開始まで

Tutorial English は、全学部生・大学院生を対象とした全学オープン科目です。科目登録からレッスン開始までに、他科目とは異なるスケジュールで実施され、また、独自の予習やテスト受験があります。流れをよく確認し、履修してください。また、科目登録に係る諸手続きや単位の取り扱いについては、グローバルエデュケーションセンター発行『全学オープン科目履修ガイド』および所属学部発行の学部要項・科目登録の手引きで確認してください。
なお、「登録決定」となった科目の**変更（レベルや曜日時限、キャンパス含む）・取消は認められません。**

※本科目は、年間を通じて開講しています。開講時期や詳細なスケジュールについては、以下の表および裏表紙のレッスンカレンダーを参照してください

■クォーター科目 A～D（週 2 回×5 週間　全 10 レッスン　／　週1回（土曜）2 時限連続×5 週間　全 10 レッスン）

科目名	春クォーター（A）【5 週間】	夏クォーター（B）【5 週間】	秋クォーター（C）【5 週間】	冬クォーター（D）【5 週間】
Tutorial English（各レベル）A **（10 レッスン）**	○		○※1	
Tutorial English（各レベル）B **（10 レッスン**		○		○※1
Tutorial English（各レベル）C **（10 レッスン）**			○	
Tutorial English（各レベル）D **（10 レッスン）**				○

※1：Advanced は C,D が無いため、秋クォーター(A)、冬クォーター(B)となります。

（参考）
■夏季集中・春季集中科目　（1日 2 時限連続×10 日間　全 20 レッスン）

科目名	夏季集中【10 日間】	春季集中【10 日間】
Tutorial English（各レベル）A&B **（20 レッスン）**	○	○※2
Tutorial English（各レベル）C&D **（20 レッスン）**		○

※2：Advanced は、春季集中も(A＆B)となります。
※詳細は、『2022 年度 Tutorial English 履修ガイド＜夏季集中・春季集中科目＞』を参照してください。

Step 1. 科目登録

＜全学オープン科目（選択）履修者＞

ご自身でレベル、曜日時限を選び、所属学部・研究科の日程・方法に従って科目登録を行ってください。学習効果の面から A・B または C・D を 2 クォーター連続して履修することを推奨しますが、A～D のいずれか 1 つを履修することも可能です。A・B もしくは C・D を連続して履修する場合は、A・B もしくは C・D を 1 次登録期間で登録してください。
履修パターンは以下よりお選びいただけます。

(a) 週 2 回レッスン
週前半（月・火・水）、週後半（木・金・土）に各 1 レッスンを受講します。5 週間で合計 10 レッスンです。
※週前半と週後半の組み合わせは、次ページを参照してください。
※週前半・週後半ともに同一キャンパスで受講します。
※2022 年度はオンラインで実施されるため、西早稲田キャンパス・所沢キャンパス開講クラスはありません。

(b) 土曜集中レッスン
土曜日（1～2 限または 3～4 限）に 2 時限連続で受講します。5 週間で合計 10 レッスンです。
※早稲田キャンパスでのみ開講されます。

ポイント！（選択履修者）
必修履修者と異なり、履修するレベルはご自身が登録したレベルです。
どのレベルを履修したらよいか分からない方は、科目登録期間中に行われる「科目登録相談会」でレベルチェックを受け、自分の英語力に適したレベルを選択してください（所要時間約 10 分）。科目登録相談会の詳細は MyWaseda お知らせに掲載されます。

＜必修履修者＞

必修履修者は、所属学部により履修曜日時限が自動的に登録されます。履修レベルは WeTEC スコアにより決定し、履修クラス発表日（P.12）に発表されます。

※履修クラス発表日以前は、科目登録画面には「Tutorial English（Compulsory）」と表示されます。
※履修クラス発表日の前後で、曜日時限に変更が生じることはないため、同曜日時限に別科目を科目登録することはできません。また、曜日時限やレベルの変更はできかねます。

週 2 回レッスンを受講します。
週前半（月・火・水）、週後半（木・金・土）に各 1 レッスンを受講します。5 週間で合計 10 レッスンです。
※開講曜日時限はキャンパスにより異なります。
※必修科目として 4 クォーター履修する場合は、1 年を通じて同じレベルを履修します。（但し、Beginners, Advanced は除きます）。

必修履修者／対象学部（1 年生）	履修学期
政治経済学部	春・夏クォーター
法学部（外国語 B 英語選択者）	秋・冬クォーター
教育学部英語英文学科	秋・冬クォーター
商学部	春・夏クォーター　または　秋・冬クォーター
社会科学部	春・夏クォーター　または　秋・冬クォーター
人間科学部	春・夏クォーター　または　秋・冬クォーター
スポーツ科学部	通年（春・夏・秋・冬クォーター）
国際教養学部	通年（春・夏・秋・冬クォーター）

全学オープン科目履修ガイドもあわせて参照してください。
・『全学オープン科目履修ガイド』
1. 科目登録の手引き　第2章　各センター科目概要
Ⅰ. グローバルエデュケーションセンター科目概要・注意事項「5. 英語科目」

・GEC　ホームページ　https://www.waseda.jp/inst/gec/
＞科目登録ガイド　＞「英語科目の手続き方法・注意事項」

※同一レベルの A～D では、同じ難易度の授業内容を扱います。

曜日時限組み合わせ表（選択履修者用）

週 2 回の曜日時限の組み合わせは固定されています。

【例】①春クォーターに月曜 1 限と木曜 1 限の組み合わせの Upper Intermediate A を申請する場合

科目名： Tutorial English（Upper Intermediate）A A1

②冬クォーターに火曜 1 限と金曜 1 限の組み合わせの Advanced B を申請する場合

科目名： Tutorial English（Advanced）B O8

早稲田キャンパス

レベル				Basic, Intermediate, Upper Intermediate	Beginners, Advanced ※Beginnersは必修のみ	
週前半		週後半		A,B,C,D 全クォーター共通	A（春クォーター） B（夏クォーター）	A（秋クォーター） B（冬クォーター）
曜日	時限	曜日	時限	クラス名称	クラス名称	クラス名称
月	1	木	1	A1	A1	M1
月	1	木	2	A2	A2	M2
月	1	木	3	A3	A3	M3
月	1	木	4	A4	A4	M4
月	1	木	5	A5	A5	M5
月	2	木	1	A6	A6	M6
月	2	木	2	A7	A7	M7
月	2	木	3	A8	A8	M8
月	2	木	4	A9	A9	M9
月	2	木	5	B1	B1	N1
月	3	木	1	B2	B2	N2
月	3	木	2	B3	B3	N3
月	3	木	3	B4	B4	N4
月	3	木	4	B5	B5	N5
月	3	木	5	B6	B6	N6
月	4	木	1	B7	B7	N7
月	4	木	2	B8	B8	N8
月	4	木	3	B9	B9	N9
月	4	木	4	C1	C1	O1
月	4	木	5	C2	C2	O2
月	5	木	1	C3	C3	O3
月	5	木	2	C4	C4	O4
月	5	木	3	C5	C5	O5
月	5	木	4	C6	C6	O6
月	5	木	5	C7	C7	O7

レベル				Basic, Intermediate, Upper Intermediate	Beginners, Advanced ※Beginnersは必修のみ	
週前半		週後半		A,B,C,D 全クォーター共通	A（春クォーター） B（夏クォーター）	A（秋クォーター） B（冬クォーター）
曜日	時限	曜日	時限	クラス名称	クラス名称	クラス名称
火	1	金	1	C8	C8	O8
火	1	金	2	C9	C9	O9
火	1	金	3	D1	D1	P1
火	1	金	4	D2	D2	P2
火	1	金	5	D3	D3	P3
火	2	金	1	D4	D4	P4
火	2	金	2	D5	D5	P5
火	2	金	3	D6	D6	P6
火	2	金	4	D7	D7	P7
火	2	金	5	D8	D8	P8
火	3	金	1	D9	D9	P9
火	3	金	2	E1	E1	Q1
火	3	金	3	E2	E2	Q2
火	3	金	4	E3	E3	Q3
火	3	金	5	E4	E4	Q4
火	4	金	1	E5	E5	Q5
火	4	金	2	E6	E6	Q6
火	4	金	3	E7	E7	Q7
火	4	金	4	E8	E8	Q8
火	4	金	5	E9	E9	Q9
火	5	金	1	F1	F1	R1
火	5	金	2	F2	F2	R2
火	5	金	3	F3	F3	R3
火	5	金	4	F4	F4	R4
火	5	金	5	F5	F5	R5

レベル				Basic, Intermediate, Upper Intermediate	Beginners, Advanced ※Beginnersは必修のみ	
週前半		週後半		A,B,C,D 全クォーター共通	A（春クォーター） B（夏クォーター）	A（秋クォーター） B（冬クォーター）
曜日	時限	曜日	時限	クラス名称	クラス名称	クラス名称
水	1	土	1	F6	F6	R6
水	1	土	2	F7	F7	R7
水	1	土	3	F8	F8	R8
水	1	土	4	F9	F9	R9
水	2	土	1	G1	G1	S1
水	2	土	2	G2	G2	S2
水	2	土	3	G3	G3	S3
水	2	土	4	G4	G4	S4
水	3	土	1	G5	G5	S5
水	3	土	2	G6	G6	S6
水	3	土	3	G7	G7	S7
水	3	土	4	G8	G8	S8
水	4	土	1	G9	G9	S9
水	4	土	2	H1	H1	T1
水	4	土	3	H2	H2	T2
水	4	土	4	H3	H3	T3
水	5	土	1	H6	H6	T6
水	5	土	2	H7	H7	T7
土	1	土	2	H8	H8	T8
土	3	土	4	H9	H9	T9

レベルの選択と組み合わせ例

- 同じクォーターに複数のレベルを並行して履修することはできません。複数のレベルを履修したい場合は、別のクォーターまたは夏季集中/春季集中クラスを登録してください。
- 以前に履修したレベルよりも高いレベル、または同一レベルで以前履修していない ABCD を履修してください。例えば、Advanced や Upper Intermediate を履修した後に Intermediate を登録しないでください。

登録可否	組み合わせ例　※TE：Tutorial English
○	春クォーター「TE（Basic）A」＋夏クォーター「TE（Basic）B」
○	春クォーター「TE（Basic）A」＋冬クォーター「TE（Basic）D」
○	春クォーター「TE（Basic）A」＋夏クォーター「TE（Intermediate）B」
○	夏季集中「TE（Basic）A&B 01」＋夏季集中「TE（Intermediate）A&B 02」 ※夏季集中は01と02があり、授業日程が重ならなければ、夏季集中では複数のレベルを登録することが可能です。
×	春クォーター「TE（Basic）A」＋春クォーター「TE（Intermediate）A」 →同一クォーターに複数レベルを登録することはできません。
×	春クォーター「TE（Basic）A」＋夏クォーター「TE（Basic）B」＋夏季集中「TE（Basic）A&B　」 →春クォーター・夏クォーター科目と集中科目が同一レベルかつ同一内容のため、登録することはできません。

Step 2. WeTEC(事前測定)受験 (約 60 分)

★成績評価対象

＜全学オープン科目(選択)履修者＞

受験方法は、「5. WeTEC 受験ガイド」を参照してください。WeTEC のスコアをもとにレッスングループを決定するため、必ず科目登録を行った科目登録期間に受験してください。
(例: 1 次登録期間中に登録した場合は 1 次登録期間中)

※WeTEC の再受験はできません。
※WeTEC を期間中に受験しなかった場合の取扱いについては、P.39 を確認してください。

ポイント！（選択履修者）
登録した科目登録期間中に必ず受験する
（例：1 次登録期間中に登録した場合は、1 次登録期間中に WeTEC を受験する）
※WeTEC は成績評価の対象です

＜必修履修者＞

Waseda メールの案内に従い、所定期間内に必ず受験してください。受験方法は、「5. WeTEC 受験ガイド」を参照してください。

※WeTEC のスコアをもとにレベルおよびレッスングループを決定します。WeTEC のスコアがない場合は、ご自身の英語力に合うグループで履修できない可能性がありますので、必ず受験してください。

なお、入学前に WeTEC を受験し、春・夏クォーターに当該科目を履修する場合は、WeTEC(事前測定)の受験は不要です。
ただし、秋・冬クォーターに履修する場合は、前述の受験の有無に関わらず、秋クォーターの事前測定を必ず受験してください。

Step 3. 実験実習料納入

＜全学オープン科目(選択)履修者＞

全学オープン科目(選択)履修者は、実験実習料の納入が必要です。
科目登録結果発表後、Waseda メールアドレス宛てに納入案内メールが届きます。納入方法を選択後、必ず所定の納入期間内に納入してください。未納の場合は、履修が認められません。納入方法の詳細については、グローバルエデュケーションセンター発行『全学オープン科目履修ガイド』を確認してください。

＜必修履修者＞

対象: 法学部選択必修履修者
※上記学部以外の方で、学部必修で登録されている場合は実験実習料の納入は不要です。
法学部選択必修履修者は、春学期に実験実習料の納入が必要です。
科目登録結果発表後、Waseda メールアドレス宛てに納入案内メールが届きます。納入方法を選択後、必ず所定の納入期間内に納入してください。未納の場合は、履修が認められません。
納入方法の詳細については、法学部の履修ガイドおよびグローバルエデュケーションセンター発行『全学オープン科目履修ガイド』を確認してください。

Step 4. 履修クラス(レベル、オンラインブース)の確認

※選択･必修共通

Tutorial Canvas 上で、WeTEC スコア結果により決定したレベル(必修学部のみ)、オンラインブースおよび担当チューターを発表します。
必修履修者は、同日に初めて履修するレベルを確認することができます。(同日以前は、科目登録画面では「Tutorial English (Compulsory)」と表示されます。)
※Tutorial Canvas へのアクセス方法は P.6 を参照

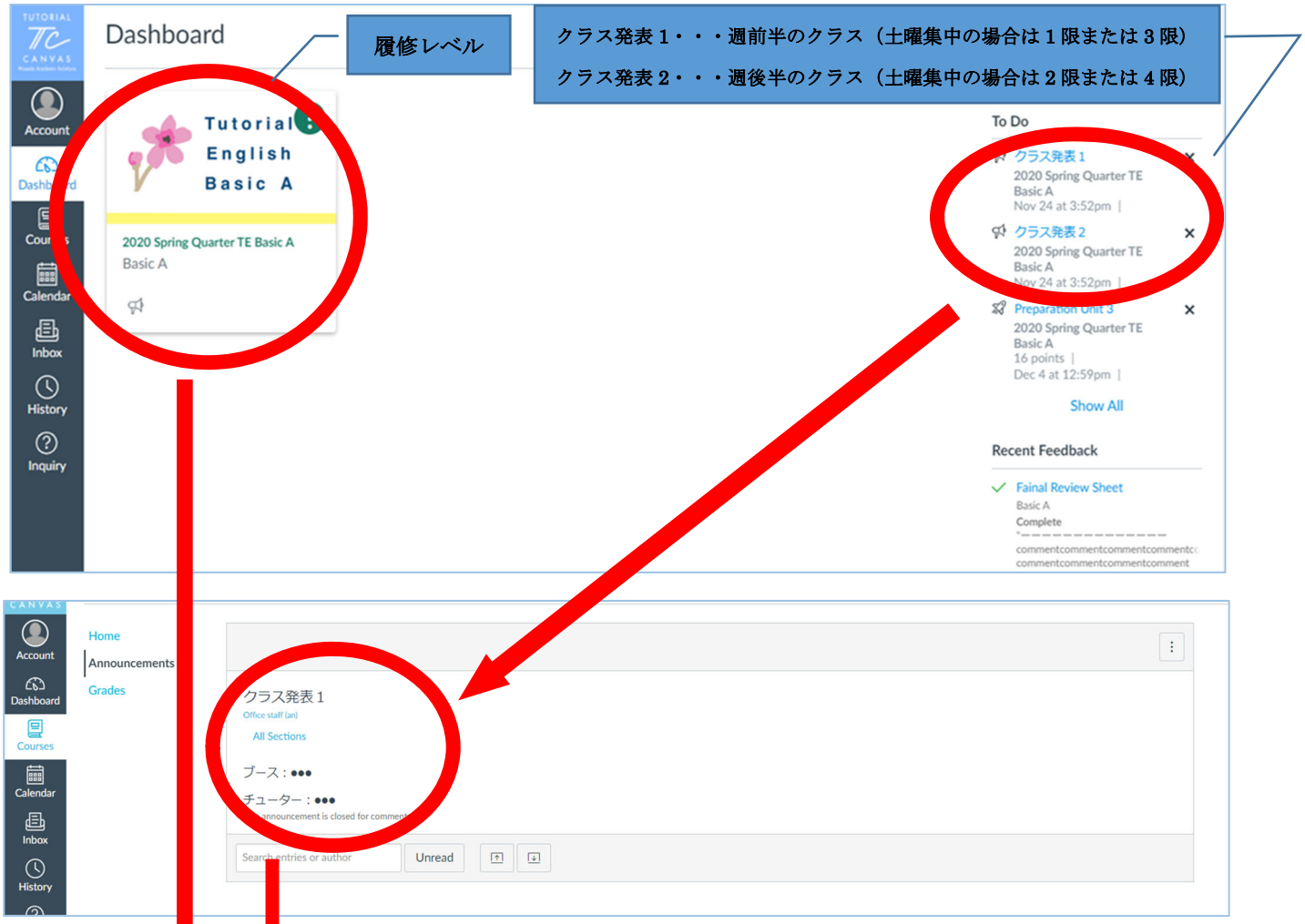
【レベル】
Tutorial Canvas の Dashboard に表示されたカードのレベルが履修するレベルになります。

【レッスンブース】
画面右上にある「To Do」の下にある「クラス発表 1」「クラス発表 2」のお知らせをクリックして確認してください。
週前半と週後半でブースが異なる場合もあるため、必ず両方のお知らせを確認してください。

※一度お知らせを参照すると既読となり「To Do」に表示されなくなります。履修するレベルを再度確認する際は、Dashboard 上でレベルの書かれたカードをクリックし、画面遷移した後、「Announcements」をクリックし、確認してください。

発表日は、次のとおりです。

学 期	クラス発表日	学 期	クラス発表日
春クォーター	2022 年 4 月 13 日(水)夕刻	夏クォーター	2022 年 5 月 31 日(火)夕刻
秋クォーター	2022 年 10 月 6 日(木)夕刻	冬クォーター	2022 年 11 月 21 日(月)夕刻



＜注意！＞

レッスンが始まるまでに必ず自分の履修する①レベル、②オンラインブース番号をメモしてください。

Waseda Moodle でのオンラインレッスンに入るために、ブース番号が必要となります。

レベル＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿曜日＿＿限＿＿＿オンラインブース番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿曜日＿＿限＿＿＿オンラインブース番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

・間違ったブースに入ってしまった場合には、一度退室して再度正しいブースに入りなおしてください。

Step 5. テキスト購入

※選択･必修共通

レッスン開始までに履修するレベルのテキストを購入してください。**テキストは、必ず新品を購入してください。**

※必修履修者は、「履修クラス発表」(P.12)までレベルが確定しませんので、履修クラス決定後に購入してください。
必修履修者は、WeTEC スコア結果により、Beginners レベルを履修することがあります。

※2022 年に『Talk』の Second Edition が刊行されています。First Edition を誤購入しないようご注意ください。

■使用テキスト一覧

A（春クォーター）

科目名	使用テキスト名	価格
Tutorial English (Beginners) A	Talk　Beginner　A (Second Edition)	定価 1,320 円（本体 1,200 円＋税 10%）
Tutorial English (Basic) A	Talk　Basic　A (Second Edition)	
Tutorial English (Intermediate) A	Talk　Intermediate　A (Second Edition)	
Tutorial English (Upper Intermediate) A	Talk　Upper Intermediate　A (Second Edition)	
Tutorial English (Advanced) A	Talk　Advanced　A (Second Edition)	

B（夏クォーター）

科目名	使用テキスト名	価格
Tutorial English (Beginners) B	Talk　Beginner B (Second Edition)	定価 1,320 円（本体 1,200 円＋税 10%）
Tutorial English (Basic) B	Talk　Basic B (Second Edition)	
Tutorial English (Intermediate) B	Talk　Intermediate B (Second Edition)	
Tutorial English (Upper Intermediate) B	Talk　Upper Intermediate　B (Second Edition)	
Tutorial English (Advanced) B	Talk　Advanced　B (Second Edition)	

C（秋クォーター）**※Beginners と Advanced は「A（春クォーター）」と同じテキスト、授業内容です。**

科目名	使用テキスト名	価格
Tutorial English (Beginners) A	Talk　Beginner A (Second Edition)	定価 1,320 円（本体 1,200 円＋税 10%）
Tutorial English (Basic) C	Talk　Basic C (Second Edition)	
Tutorial English (Intermediate) C	Talk　Intermediate C (Second Edition)	
Tutorial English (Upper Intermediate) C	Talk　Upper Intermediate C (Second Edition)	
Tutorial English (Advanced) A	Talk　Advanced A (Second Edition)	

D（冬クォーター）**※Beginners と Advanced は「B（夏クォーター）」と同じテキスト、授業内容です。**

科目名	使用テキスト名	価格
Tutorial English (Beginners) B	Talk　Beginner B (Second Edition)	定価 1,320 円（本体 1,200 円＋税 10%）
Tutorial English (Basic) D	Talk　Basic D (Second Edition)	
Tutorial English (Intermediate) D	Talk　Intermediate D (Second Edition)	
Tutorial English (Upper Intermediate) D	Talk　Upper Intermediate D (Second Edition)	
Tutorial English (Advanced) B	Talk　Advanced　B (Second Edition)	

■テキスト取扱い店舗：

早稲田大学生協各店舗　http://www.wcoop.ne.jp/
コーププラザ ブックセンター店（17 号館 B1 階）、戸山店（31 号館 1 階）
理工書籍店（57 号館 B1 階）、所沢購買書籍店（100 号館 4 階）
（Tutorial English のテキストには早稲田大学生協会員割引は適用されません。）

【Unit 1, 2 のテキストに関して】

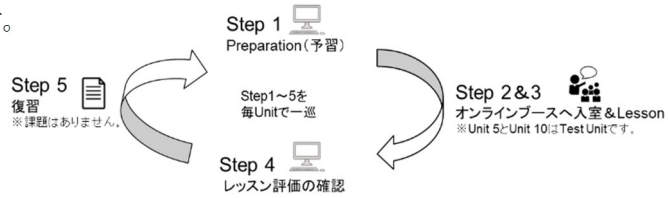
各クォーターの Unit1, 2 のテキストは Tutorial Canvas 上に掲載します。注文したテキストが届いていない場合は以下の方法でテキストのデータへアクセスしてください。なお、Unit3 以降は掲載されませんのでテキストは早めに購入してください。

＜Unit1, 2 のテキストへのアクセス方法＞

Tutorial Canvas にログイン後、履修中のコースにアクセスをして、「Unit 1（もしくは Unit 2）」内にある「Unit ● テキスト PDF」をクリック、テキストをダウンロードして必ず印刷してください。プリンターがない場合は、本履修ガイド P.40 の FAQ の Q.3 を参照してください。

3. レッスン期間中

各レッスンには会話表現に関する目標（Can-do）が設定されています。チューターの指導のもと、ペアワークやグループワークを通じて英会話の練習をします。レッスンでは語彙の習得だけでなく、会話の始め方や弾ませ方、ディスカッションの進め方など、実践の場ですぐに活かせるスキルも身につけることができます。



また、予習（Preparation）、テスト受験（WeTEC）など、レッスン時間外にも成績評価対象となる課題があります。右図の各ユニットの流れ（Step 1～5）をよく理解し履修しましょう。

Step 1. Preparation（予習）　★成績評価対象

成績評価の対象となりますので（P. 28）、レッスン開始までに必ず Tutorial Canvas で Preparation に取り組んでください。

Preparation の解答期間は、**各レッスンの 7 日前からレッスン開始時間までです。**

例）4 月 18 日（月）1 限の Preparation の解答期限は、4 月 18 日（月）9:00

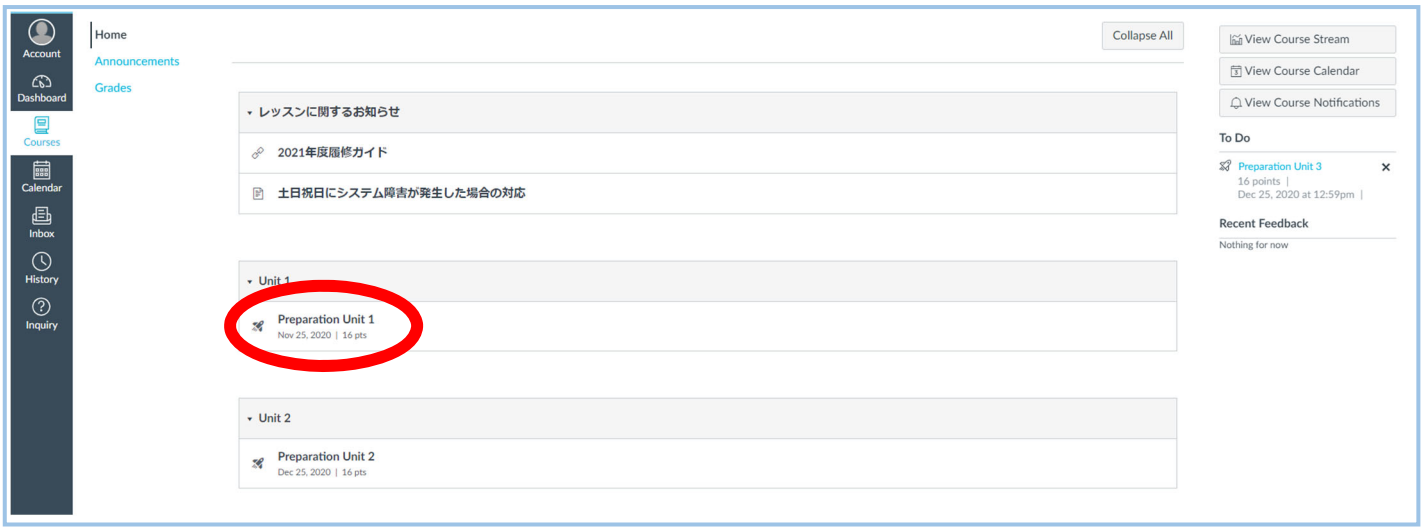
※なお、クォーター初回（Unit 1）では、解答期間が7日間より短くなることがあります。

・リスニング問題の会話はテキストに掲載されており、テキストを見ながら聴くことを推奨いたします。
・Preparation は各 Unit につき 2 回まで解答することができ、2 回のうちスコアの高いほうが成績評価に使用されます。なお、2 回目を解くときは、正解した問題も含めて全問解きなおす必要があります。2 回目の解答は必須ではありません。
・正解は 2 回解答した後に表示されます。
・自由記述式の問題は成績評価の対象外となりますが、レッスン内でのパフォーマンス向上や学習効果を高めるためにも、必ず解答してください。
・レッスンを欠席する場合でも、解答期間内であれば Preparation を提出することが可能です。
・テキストに目を通し、わからない単語や表現などを調べておくと、レッスンでの学習効果をより高めることができます。

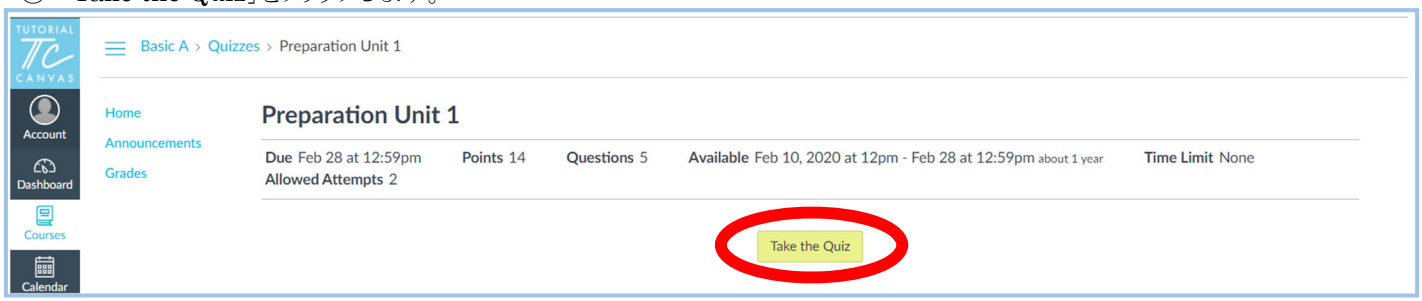
※設問と選択肢が日本語で出てくる場合：ブラウザの言語設定を日本語から英語に変更してください。
※パソコントラブルを含む個別の事由による再提出などは認められません。

◆Preparation の解答方法

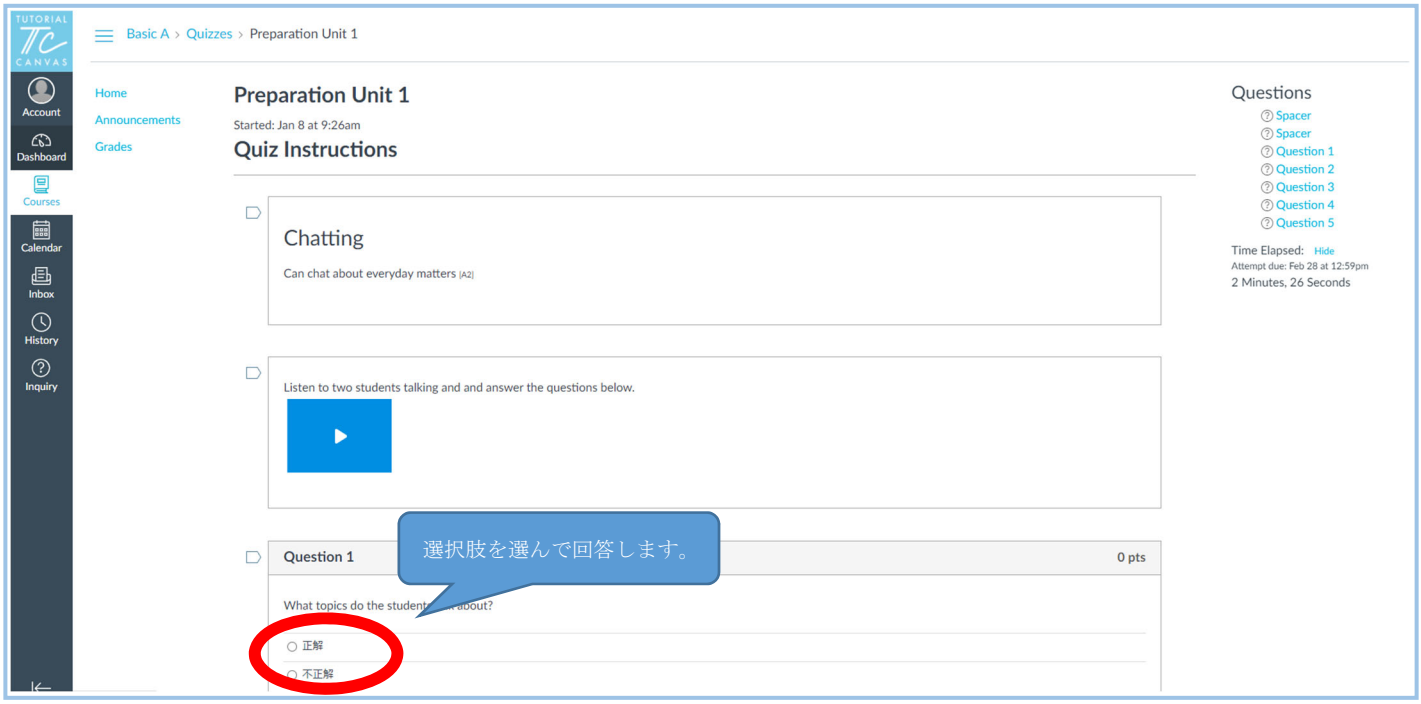
① Dashboard にある履修中のコースをクリックし、解答したい Unit の「Preparation Unit ●」をクリックします。



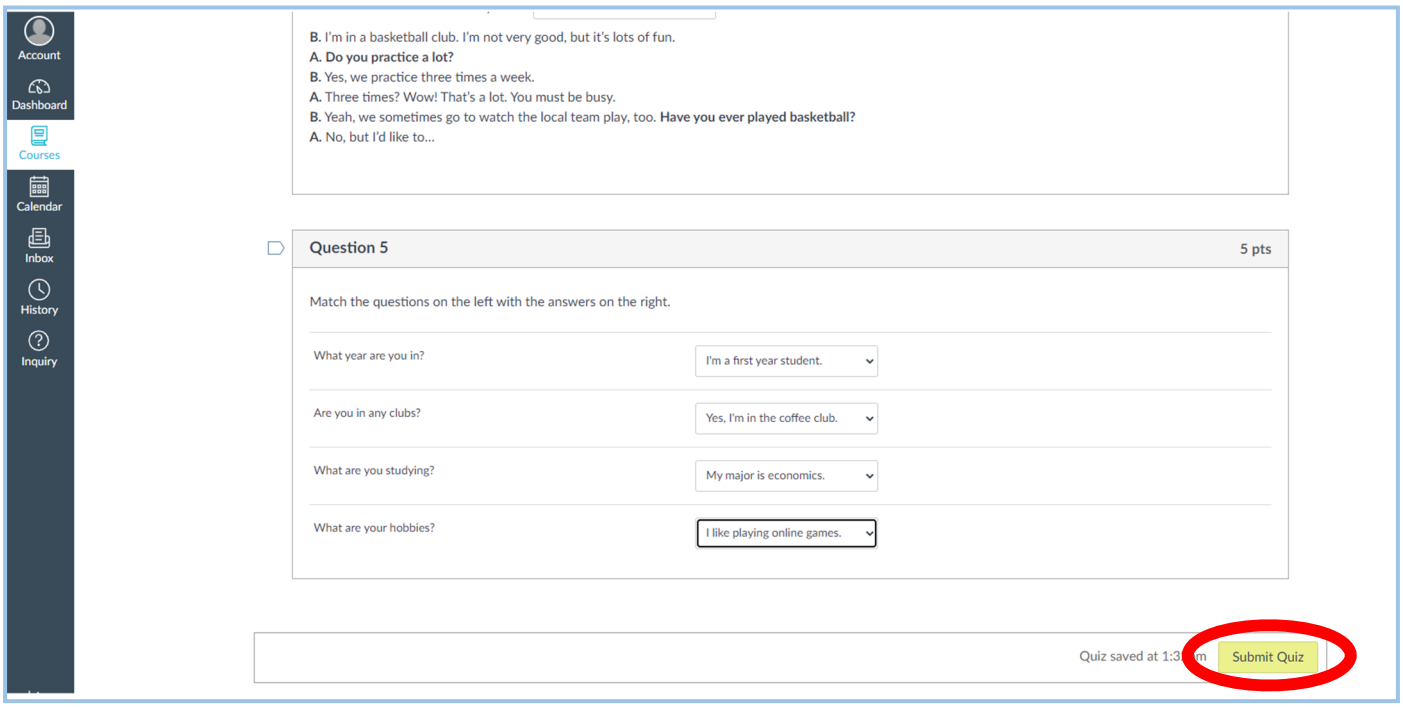
② 「Take the Quiz」をクリックします。



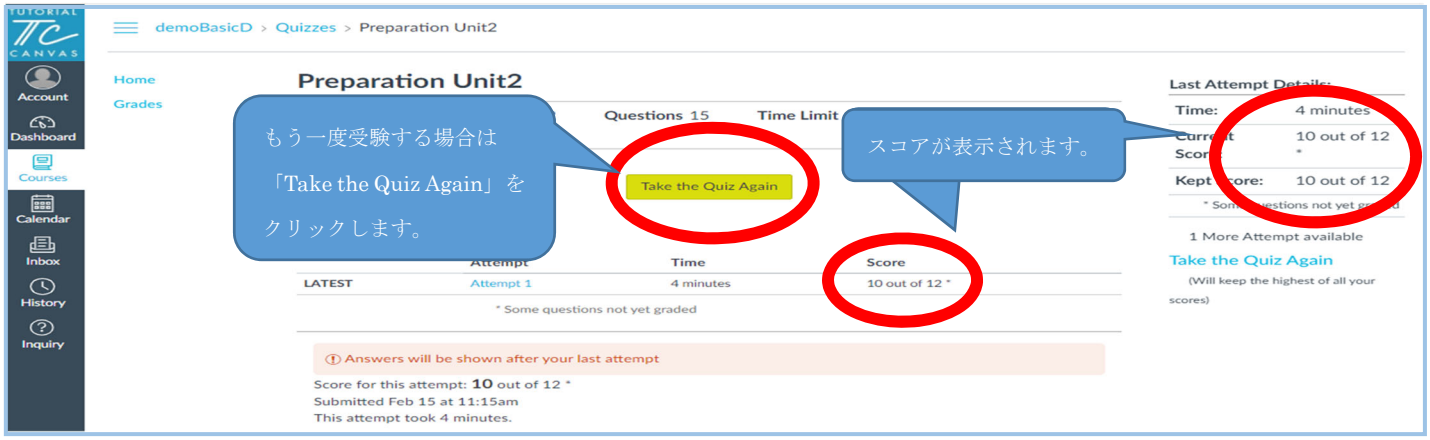
③ 「再生ボタン」をクリックし、音声を再生して、下にある問題に解答します。



④ 最後まで解答したら右下にある「Submit Quiz」をクリックします。

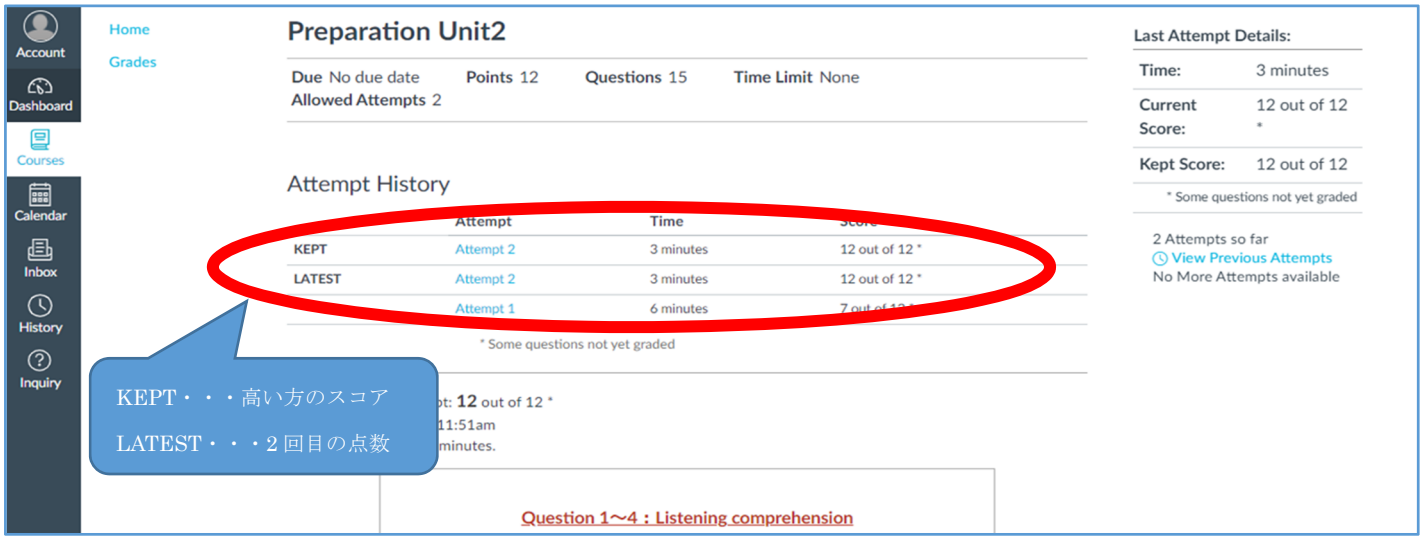


⑤ スコアが表示されます。もう 1 度受験する場合は「Take the Quiz Again」をクリックします。



⑥ 2 回目の解答方法は③～④と同じです。

⑦ 2 回解答すると、両方のスコアが表示されますが、高い方のスコアが成績評価に使用されます。



ポイント

- Preparation は成績評価の対象となります。
- 解答期間は、**各レッスンの 7 日前～レッスン開始時間**までです。
- レッスンを欠席する場合でも、解答期間内であれば解答することができます。
- 2 回まで解答することができ、スコアの高いほうが成績評価の対象となります。
- パソコントラブルを含む個別の事由による再提出などは認められません。

Step 2. オンラインブースへの入室

オンラインレッスンは 90 分となります。以下の点に注意して授業に出席してください。
なお、出席・欠席の扱いについては P.29 を確認してください。

■注意
・レッスンは、通常の対面レッスンと同様の学習効果が得られるよう、自宅など静かな環境で受講してください。
・他の履修者が著しく不利益を被るような、周囲が騒がしい環境で授業に出席しないでください。
　場合によっては Interaction などの評価点をゼロとする他、出席として扱われないことがあります。

① Waseda Moodle で指定されたブースへ入る

Waseda Moodle の「2022 Tutorial English オンライン授業」にアクセスしてください。
次に、「オンライン授業入口」(Collaborate)をクリックした後、自身のブース番号の書かれたセッションをクリックし、ブースに入ってください。

※なお、他の授業が行われている場合があるため、【授業開始 5 分前】以降にブースに入ってください。また、ご自身の授業時間以外はブースにアクセスしないでください。

※ブース番号が表示されない場合
「Tutorial English コースルーム ロックされています」のみが表示され、ブース番号が表示されない場合は、画面の倍率が大きくなっている可能性があります。右隅のコントロールバーから下にスクロールするか、「Ctrl」キーを押しながら、「＋」または「－」を押して拡大率を変更して確認してください。

※教室・ブースは、P.12 の「履修クラス(レベル・オンラインブース)の確認」を参照してください。

PC の表示設定によっては、
１番上のブースしか見えないこともあります。
スクロールもしくは画面の倍率を下げると表示される場合があります。

※ブースは、14 ページに渡り記載されているため、自身のブースが何ページ目に記載があるかを下表で確認し、正しいブースに入室してください。

【教室・ブース Moodle ページ一覧表】

ページ	
1	waseda-100-100-1ブース～10ブース
2	waseda-100-100-11ブース～20ブース
3	waseda-100-100-21ブース～30ブース
4	waseda-100-100-31ブース～40ブース
5	waseda-100-100-41ブース～50ブース
6	waseda-100-100-51ブース～60ブース
7	waseda-100-100-61ブース～70ブース
8	waseda-100-100-71ブース～80ブース
9	waseda-100-100-81ブース～90ブース
10	waseda-100-100-91ブース～100ブース
11	waseda-100-100-101ブース～110ブース
12	waseda-100-100-111ブース～120ブース
13	waseda-100-100-121ブース～130ブース
14	waseda-100-100-131ブース～140ブース

「セッションに参加」をクリック

②オンラインブースに入室し、授業に出席する

画面下の音声マーク と動画マーク をクリックし、マイクとカメラを ON にしてくださいする。

※本人確認の必要性から、**レッスン中はカメラを ON** にしてください。
※PC の音声設定が消音ミュートになっていないか確認してください

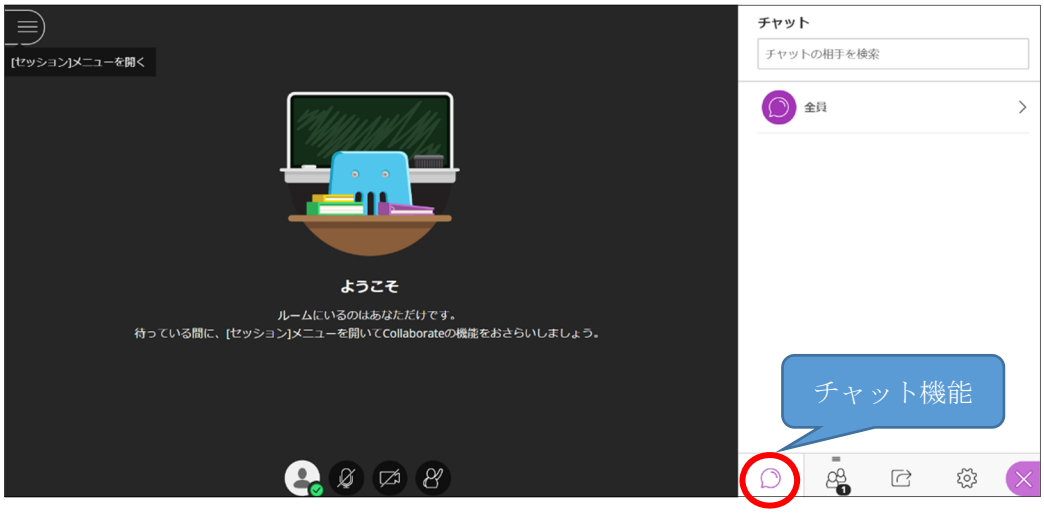
＜オンライン授業中　イメージ画面＞

＜チャット機能の使い方＞

メンバーの音声が聞こえない、動画が見えないなどの問題が発生した場合は、チャット機能を使用します。

画面右下の紫色の マークをクリックし、 マークをクリックするとチャット画面がでてきます。

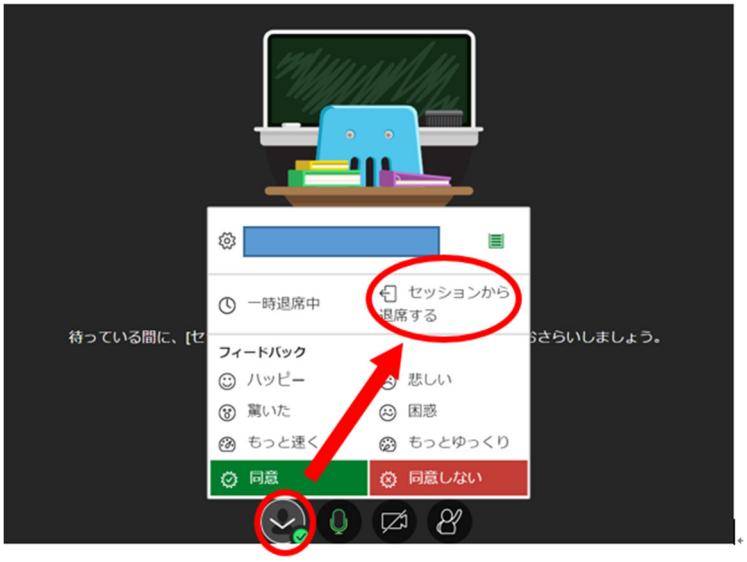
※チャットは英語で入力してください。



③オンラインブースから退室する

レッスン終了後、必ず の「ステータス及び設定」をクリックし、「セッションから退席する」を選択し、画面を閉じてください。

※「セッションから退席する」を選択してログアウトしないと、授業に在席している状況が続いてしまうため、次の授業に支障をきたす他、障害の原因となる可能性があります。必ず上記の手順で退出してください。



Step 3. Lesson（レッスン）

★成績評価対象

レッスンでは積極的に話しましょう。

レッスンはテキストを用いながら全て英語で行います。各ユニットには会話表現に関する目標（Can-do）が設定されています。チューターの指導のもと、ペアワークやグループワークを通じて英会話の練習をします。レッスンでは語彙の習得だけでなく、会話の始め方や弾ませ方、ディスカッションの進め方など、実践の場ですぐに活かせるスキルも身につけることができます。

なお、全 10 回のレッスンのうち、**Unit 5 および Unit 10 は Test Unit** です。

Test Unit とは、これまでのレッスンで学んだ内容をアウトプットし、スピーキング能力を評価する場です。Unit 1～4 の内容を Unit 5 で、Unit 6～9 の内容を Unit 10 で評価します。各ユニットで学んだ Can-do を融合させたテストを行うため、これまでの学習内容を復習する機会になります。具体的な成績評価については 28 ページを参照してください。

Unit 5 と Unit 10 の Test Unit を両方欠席すると、単位を取得できません。注意してください！

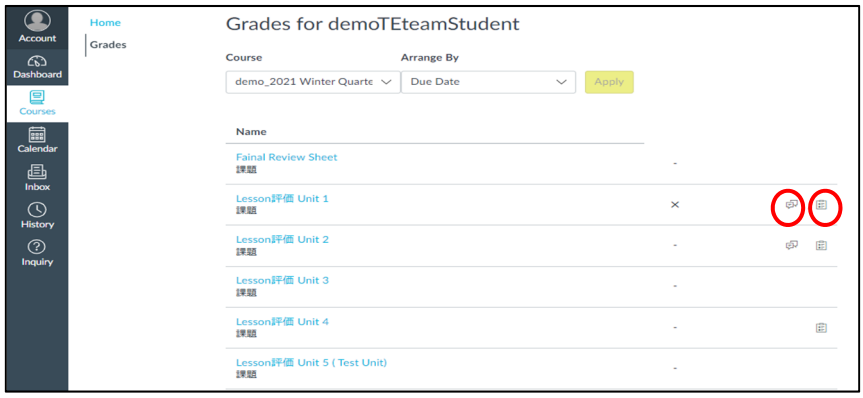
Step 4. レッスン評価確認

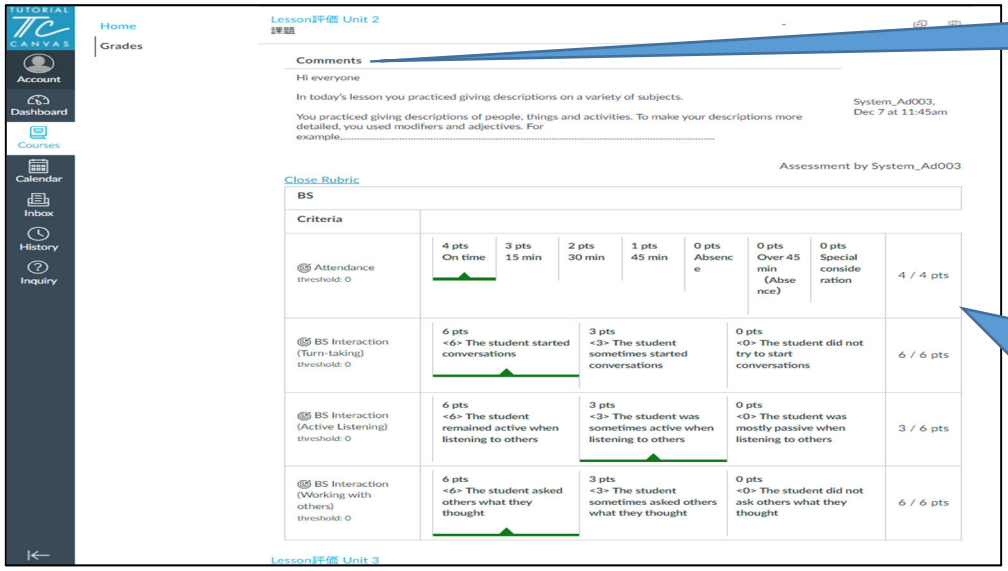
各レッスン終了後（レッスンの翌々日までに）、Tutorial Canvas の「Grades」にチューターから「レッスン評価」とグループ全体への「コメント」が掲載されます。必ず確認してください。

レッスン評価を確認する場合は 、グループ全体へのコメントを確認する場合は をクリックしてください。

◆Tutorial Canvas

履修中のコースを選んだあと、 Grades をクリック後に表示される「Lesson 評価 Unit ●」の横にある アイコンをクリック





グループ全体への「コメント」

レッスン評価
＊Attendance のポイント(4pts～0pts)は成績評価ポイントに含まれません。

■レッスン評価の問い合わせ期限

レッスン評価について質問がある場合は、以下期限内にお問い合わせください。
問い合わせフォーム：https://otoiawase.jp/do/public/form/tutorialenglish/1

学　期	期　限	学　期	期　限
春クォーター	2022 年 6 月 3 日（金）	夏クォーター	2022 年 7 月 15 日（金）
秋クォーター	2022 年 11 月 25 日（金）	冬クォーター	2023 年 1 月 27 日（金）

注意事項:
・期限を過ぎた質問等は受付できません。
・質問等を Tutorial Canvas に直接書き込まれた場合は対応できません。
・レッスンの評価の問い合わせ期限は上記の通り設定されていますが、ご自身のレッスン評価は必ずユニット終了毎に行ってください。また、質問がある場合には、期限を待たずにお早めにお問い合わせください。

■Test Unit 英語力指標

Tutorial English のテキスト『Talk』は CEFR（セファール）※に準じて作成されており、Unit 5、Unit 10 の Test Unit では、評価とは別に、Range、Accuracy、Fluency、Phonology について、「CEFR」に合わせた現在の英語力の指標が表示されます。

<u>この指標は成績には関与しません。</u>判定基準は以下の表をご参照ください。

	Range	Accuracy	Fluency	Phonology
C2	- Shows great flexibility reformulating ideas in differing linguistic forms to convey finer shades **of meaning precisely, to give emphasis, to** differentiate and to eliminate ambiguity. Also has a good command of idiomatic expressions and colloquialisms.	- Maintains consistent grammatical control of complex language, even while attention is otherwise engaged (e.g. in forward planning, in monitoring others' reactions).	- Can express him/herself spontaneously at length with a natural colloquial flow, avoiding or backtracking around any difficulty so smoothly that the interlocutor is hardly aware of it.	- Can employ the full range of phonological features in the target language with a high level of control – including prosodic features such as word and sentence stress, rhythm and intonation – so that the finer points of his/her message are clear and precise. Intelligibility is not affected in any way by features of accent that may be retained from other language(s).
C1	- Has a good command of a broad range of language allowing him/her to select a formulation to express him/ herself clearly on a wide range of general, academic, professional or leisure topics without having to restrict what he/she wants to say.	- Consistently maintains a high degree of grammatical accuracy; errors are rare and difficult to spot.	- Can express him/herself fluently and spontaneously, almost effortlessly. - Only a conceptually difficult subject can hinder a natural, smooth flow of language. - Demonstrates fully controlled use of connecting phrases and organizational patterns to form smooth-flowing speech.	- Can articulate virtually all the sounds of the target language; some features of accent retained from other language(s) may be noticeable, but they do not affect intelligibility. - Can vary intonation and place sentence stress correctly in order to express finer shades of meaning.
B2	- Has a sufficient range of language to be able to give clear descriptions, express viewpoints and develop arguments without much noticeable searching for words, using some complex sentence forms to do so.	- Shows a relatively high degree of grammatical control. Does not make errors which cause misunderstanding, and can correct most of his/her mistakes.	- Can produce stretches of language at a fairly even tempo. - There are not many noticeably long pauses. - Can link phrases into coherent speech using a limited number of cohesive devices/connecting phrases, though there may be some 'jumpiness' in a long contribution.	- Can generally use appropriate intonation, place stress correctly and articulate individual sounds clearly. - Accent can be influenced by other language(s) he/she speaks, but has little or no effect on intelligibility.
B1	- Has enough language to get by in everyday life, with sufficient vocabulary to express him/herself with some hesitation and circumlocutions on topics such as family, hobbies and interests, work, travel, and current events, but vocabulary limitations cause repetition and even difficulty with formulation at times.	- Uses reasonably accurately a repertoire of frequently used 'routines' and patterns associated with more predictable situations.	- Can keep going comprehensibly, even though pausing for planning and repair is very evident, especially in longer stretches of free production. - Can link simple elements into a linear sequence.	- Pronunciation is generally intelligible even if a foreign accent is sometimes evident and occasional mispronunciations occur. - Can approximate intonation and stress.
A2	- Can produce brief everyday expressions in order to satisfy simple needs of a concrete type (e.g. personal details, daily routines, wants and needs, requests for information.) - Can use basic sentence patterns and communicate with memorized phrases and groups of a few words about themselves and other people, what they do, places, possessions etc.	- Uses some simple structures correctly, but still systematically makes basic mistakes (e.g. tends to mix up tenses or forgets to mark agreement). - It is still usually clear what he/she is trying to say.	- Can make him/herself understood in short stretches, even though pauses, false starts and reformulation are very evident. - Can construct phrases on familiar topics with sufficient ease to handle short exchanges, despite very noticeable hesitation and false starts. - Can link phrases with simple connectors like "and," "but" and "because."	- Pronunciation is generally clear enough to be understood, but native speakers might need to ask for repetition from time to time. - A strong influence from other language(s) he/she speaks on stress, rhythm and intonation may affect intelligibility, but pronunciation of familiar words is clear.
A1	- Has a very basic range of simple expressions about personal details and needs of a concrete type. - Can use some basic structures in single-clause sentences with some omission or reduction of elements.	- Shows only limited control of a few simple grammatical structures and sentence patterns in a memorized repertoire.	Can manage very short, isolated, mainly pre-packaged phrases, with significant pausing to search for expressions, to articulate less familiar words, and to repair communication. - Can link words with very basic connectors like "and" or "then."	- Pronunciation of a very limited repertoire of learnt words and phrases can be understood with some effort by interlocutors used to dealing with speakers of the language group concerned. - Can reproduce correctly a limited range of sounds as well as the stress on simple, familiar words and phrases.

※ CEFR とは Common European Framework of Reference for Languages の略で、「ヨーロッパ言語共通参照枠」と訳されます。多言語が行き交うヨーロッパにて、どの言語で、どのくらいの語学力があるかを共通して測る物差しとされています。学習を始めたばかりの初学者（A1）から母語話者と遜色のない熟練者（C2）までのスケールがあります。

4. レッスン期間後

Step 1. WeTEC（成果測定）受験 （約 60 分） ★成績評価対象

◆Tutorial Canvas: Dashboard からコースに入った後、Unit 10 の「WeTEC 成果測定について」をクリック

レッスン期間終了後に WeTEC を再度受験し、事前測定と比較してどれだけ英語力が伸びたかを測ります。
受験方法は「5 WeTEC 受験ガイド」P.25～27 ページを参照してください。
受験期間は「WeTEC 受験期間一覧」(P.38)を参照し、必ず所定期間内に受験してください。
ただし、A･B もしくは C･D を 2 クォーター連続で履修する方は A または C の成果測定は不要です。B もしくは D の成果測定が A または C の成果測定として成績に反映されます。

※WeTEC は次の場合にポイントが付きます。
・事前測定と成果測定の両方を受験した場合
・成果測定のスコアが事前測定のスコアを超え、かつ成果測定のスコアが履修するレベルの最低基準点(P.28 参照)以上であった場合

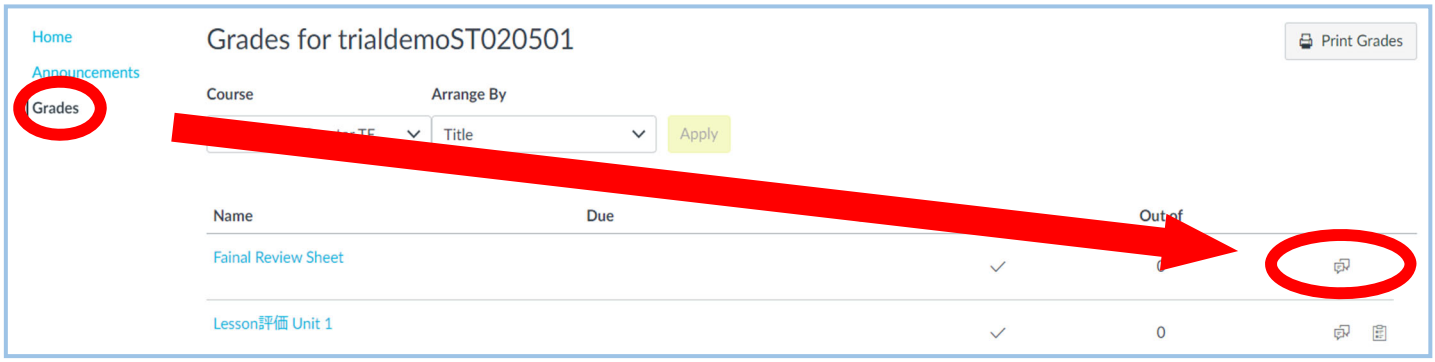
Step 2. 授業アンケート回答

◆Tutorial Canvas: Dashboard からコースに入った後、Unit 10 の「アンケート回答」をクリック

学生による授業評価アンケートを実施します。成績には一切影響はありません。
今後の授業運営の参考としますので、回答への協力をお願いします。

Step 3. Final Review Sheet 確認

◆Tutorial Canvas: Dashboard からコースに入った後、左側にある「Grades」をクリックし、「Final Review Sheet」横の をクリック



レッスン期間終了後、Tutorial Canvas にチューターから所定の条件(＊1)を満たした履修者へ以下の日程(＊2)までにフィードバックが掲載されます。レッスンを通じて達成できたことや課題点、学習アドバイスなど、今後の英語コミュニケーション能力の向上に役立ててください。

(＊1)条件			
Unit 1～Unit 10 までのレッスンのうち、2 名のチューターのレッスンにそれぞれ過半数出席			
(＊2) 掲載予定日			
春クォーター	2022 年 6 月 6 日（月）	夏クォーター	2022 年 7 月 18 日（月）
秋クォーター	2022 年 11 月 28 日（月）	冬クォーター	2023 年 1 月 30 日（月）

5. WeTEC 受験ガイド

WeTEC 受験ガイド　1/3

●WeTEC とは

Web-based Test for English Communication の略称で、インターネットを利用した英語コミュニケーション能力判定テストです。個人の能力に合わせてテスト問題を変化させていく適応型のテストシステムですので、従来のペーパーテストに比べて短時間で正確な測定が可能です。次のような特徴があります。

①約 60 分で高い測定精度

試験時間の平均は**約 60 分**です。また、問題をランダムに出題するタイプのコンピュータテストとは違い、TOEIC(R)テストや英検などの資格試験と同等の正確性の高いレベル測定を行います。

②テスト終了後にすぐわかる結果

コンピュータを利用しているため、その場で採点し、テスト終了後すぐにスコアが表示されます。

③ウェブ上で受験できる

指定された受験期間内であれば、自分の好きな時に受験をし、実力チェックをすることが可能です。
（受験は各自 1 回のみ可能です。再受験はできません。）

■受験期間：P.38 参照

■試験形式

Section 1	語彙の知識	
問題形式	空所補充	日常生活・学校生活・ビジネス現場などのシチュエーションで実際によく使われる語彙の知識を測定します。
解答方式	4肢択一	
問題数	25 問	
配点	250 点	
解答時間	60 秒/1 問	

Section 2	表現の知識及びその用法	
問題形式	空所補充	日常生活・学校生活・ビジネス現場などのシチュエーションで実際によく使われる会話表現の知識およびその用法を測定します。
解答方式	4肢択一	
問題数	25 問	
配点	250 点	
解答時間	90 秒/1 問	

Section 3	リスニングでの大意把握力	
問題形式	リスニング	日常生活・学校生活・ビジネス現場などのシチュエーションにおける会話やニュースなどを聞き、その内容の大意を理解する能力を測定します。
解答方式	4肢択一	
問題数	25 問	
配点	250 点	
解答時間	60 秒/1 問	

Section 4	具体情報の聞き取り能力	
問題形式	リスニング	日常生活・学校生活・ビジネス現場などのシチュエーションにおける会話などから、内容理解のキーポイントとなる情報を聞き取る能力を測定します。
解答方式	ディクテーション	
問題数	20 問	
配点	250 点	
解答時間	120 秒/1 問	

■試験時間：約 60 分

■試験結果：テスト終了後に各セクションと合計の正答率が表示されます。
スコアに応じてアドバイスが表示されますので、今後の学習に役立ててください。

■受験に必要な環境：①パソコン　②ヘッドホンまたはスピーカー

＜パソコン推奨環境＞

OS	ブラウザ
Windows：8.1/10/11	Microsoft Edge 20 以降（Windows 10）、Google Chrome
Macintosh：OS 10.9 以降	Safari 7.0 以降、Google Chrome

※推奨環境は、2022 年 2 月 11 日時点のものです。最新の推奨環境は、WeTEC 受験サイトをご確認ください。

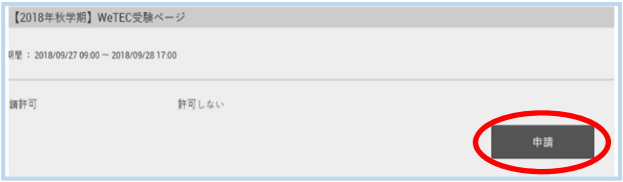
■お問い合わせ：問い合わせフォーム　https://otoiawase.jp/do/public/form/tutorialenglish/1
受験に関するご質問は、受験期間内にお問い合わせください。回答は翌平日以降になる場合があります。受験期間の最終日当日に質問を行う場合、回答が受験期間内に間に合わない可能性がありますので、注意してください。

WeTEC 受験ガイド　2/3

■受験の進め方

①受験サイトへアクセスする

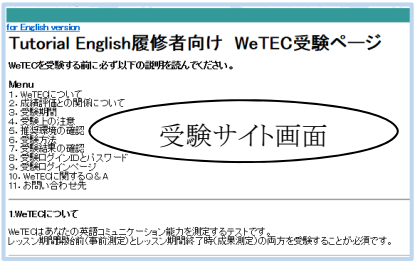
事前測定	選択履修者	科目申請完了後、登録科目一覧画面の「備考」欄に表示される「入力有」ボタンをクリックし、次の画面で「申請」ボタンをクリックした後に表示される受験案内画面の URL をクリックしてください。 ※ご自身が科目登録を行った期間中のみ受験が可能です。 （例: 1 次登録期間中に科目登録を行った場合は 1 次登録期間中のみ受験が可能です。）
	必修履修者	Waseda メールの指示に従いアクセスしてください。
成果測定	選択・必修共通	Tutorial Canvas の Unit 10 の中の「WeTEC 成果測定について」をクリックして表示された URL から受験ページにアクセスしてください。



②受験環境チェック

受験サイトから、受験環境チェックを行い、すべての結果が「OK」になることを確認する。

※チェック結果が1つでも「NG」になっている場合は、推奨環境を満たすパソコンから受験してください。



③WeTEC ガイドツアーで受験方法を確認する

上記受験サイトから、WeTEC ガイドツアーにアクセスし、受験方法を確認する。

※WeTEC ガイドツアーでは、実際の受験と同じ形式で、受験を体験できます。
WeTEC の受験方法に十分慣れてから本番の受験に臨んでください。

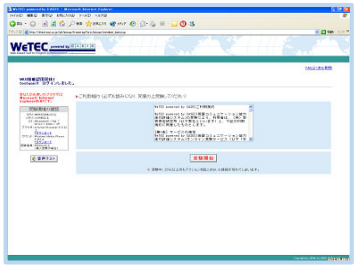
④ログインする

該当のログインページへのリンクをクリックし、ログインページへ進む。受験者 ID、パスワードを入力し、ログインする。

受験者 ID: 学籍番号（半角）
"-（ハイフン）"の CD（チェックデジット）以下を除いたものとなります。
例）1X00A000-3 の場合 → 1X00A000

パスワード: 自分の誕生日の数字 4 桁（半角）
例）6 月 27 日生まれの場合 → 0627

※ログインできない場合は「WeTEC が不要なケース」（P.39）を参照し、ご自身が WeTEC の受験対象者であるかを確認してください。
A・B もしくは C・D を 2 クォーター連続で履修する場合は B または D の成果測定を受験することで、A または C の成果測定を兼ねます。また、夏クォーターもしくは冬クォーターを履修し、その直後の夏季・春季集中科目を履修する場合も、夏クォーター、冬クォーターの成果測定のスコアが集中科目の事前測定を兼ねます。



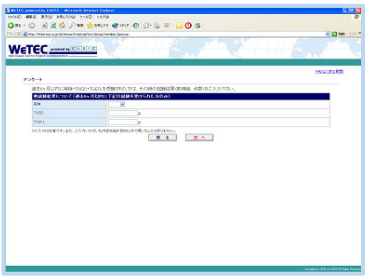
⑤利用規約に同意する

利用規約に同意したら、「受験開始」ボタンを押す。

WeTEC 受験ガイド　3/3

⑥音声をテストする

実際のテストと同じ音量で例文が読まれるので、音量を調節する。
※調節方法は、画面の指示に従ってください。



⑦アンケート

過去6ヶ月以内に英検・TOEIC・TOEFL を受験された方は、試験結果（取得級・点数）を入力し、「次へ」をクリックする。
※受験していない場合は入力不要です。

⑧受験票内容の確認

画面上にご自身の受験情報が表示されるので、間違いがないか確認してから「受験開始」をクリックする。

■WeTEC を受験する

⑨受験を開始する

WeTEC は 4 つのセクションから構成されています。
受験にかかる所要時間は約 60 分です。

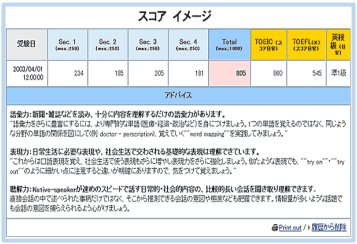
受験中に画面がフリーズした/中断されたら

あわてずにウィンドウを閉じてください。
もう一度①に戻り、同じようにログインすれば、中断された場所から再開することができます。

※Section 4 では受験画面上の【よくある間違い】をよく読んでください。
注意書きに沿った解答をしない場合、不正解とみなされます。
（例：スペルミス、単語のあとに余分なスペースがある場合）

⑩スコアを確認する

※各セクション 250 点満点で、トータル 1000 点満点です。スコアに応じてアドバイスが表示されるので、今後の学習に役立ててください。
※確認後は、右上にある「ログアウト」ボタンからログアウトを行ってください。
強制終了すると、試験を正常に終了できなくなりますので、ご注意ください。
※各セクションのスコア・アドバイスは一度ウィンドウを閉じる/ログアウトすると再表示できません。



スコア イメージ

受験日	Sec. 1 (max.250)	Sec. 2 (max.250)	Sec. 3 (max.250)	Sec. 4 (max.250)	Total (max.1000)	TOEIC (スコア目安)	TOEFL(pc) (スコア目安)	英検 級 (目安)
2003/04/01 12:00:00	234	165	205	181	805	860	545	準1級

アドバイス

語彙力：新聞・雑誌などを読み、十分に内容を理解するだけの語彙力があります。
"語彙力をさらに豊富にするには、より専門的な単語（医療・経済・政治など）を自につけましょう。1つの単語を覚えるものではなく、同じような分野の単語の関係を図にして（例: doctor - perscription）、覚えて＜" word mapping" を実践してみましょう。"

表現力：日常生活に必要な表現や、社会生活で交わされる基礎的な表現は理解できています。
"これからは口語表現を覚え、社会生活で使う表現をさらに増やし、表現力をさらに強化しましょう。例えば、よくある表現でも、"try on"・"try out" のように細かい点に注意すると違いが明確にありますので、見分けて覚えましょう。"

聴解力：Native-speakerが速めのスピードで話す日常的・社会的内容の、比較的長い会話を聞き取り理解できます。
直接会話の中で述べられた事柄だけではなく、そこから推測できる会話の意図や相手なども把握できます。情報量が多いような話題でも会話の要旨を掴められるようしがけましょう。

Print out / 閉じる/終了

⑪WeTEC 受験ページログアウト後のスコア確認

受験結果は、受験期間終了後 5 日以内（土日祝日を除く）に Waseda メールアドレス宛にメールで送られます。
※メールが届かないという方は、迷惑メールフォルダに分類されていることが考えられます。ご確認ください。

6. 成績評価（クォーター科目）

6.1 成績評価方法

レッスンは、評価ガイドライン（P.31, 32 参照）に即し、出席回数、及び以下の評価対象項目のポイント数の合計をもとに評価されます。各ユニットに学習目標があるため、レッスンに出席し、積極的にレッスンに参加することが成績評価の必須条件となります。そのため、出席回数が成績評価に影響します。なお、 Tutorial English における課題に取り組むにあたり、P.33～35 の行為は不適切な行為とみなします。不正行為が発覚した場合、成績評価を不合格評価とし、所属学部・研究科に報告します。

<table>
<tr><th>評価対象項目</th><th>対象ユニット</th><th>ポイント数
（合計 394 ポイント）</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>1. Preparation</td><td>Unit 1～10</td><td>0～12 ポイント／1Unit
（合計 120 ポイント）</td><td>レッスン後、Tutorial Canvas から各レッスン前までに解答して提出する予習課題「Preparation」の解答内容を正解数に応じて 0～12 ポイントで評価します。</td></tr>
<tr><td>2. Interaction</td><td>Unit 5, 10
以外の8Unit</td><td>0～18 ポイント／1Unit
（6 ポイント×3 項目×8Unit=合計 144 ポイント）</td><td>Turn-taking、Active Listening、Working with others の 3 項目において、どれだけレッスン内の発話、コミュニケーションに貢献したかで評価します。各レベルの評価基準は P.31～32 に記載されています。

Turn-taking・・・会話をスタートさせ、会話中どれだけ積極的に参加することができるか。また、話すチャンスがあった時や話題を向けられたとき、話すことができたかを評価します。
Active Listening・・・他の学生が話している時に、うなずいたり、反応したりして、相手の発話を促すような聞き方をしているかを評価します。
Working with others・・・グループで協力して、会話を続けることができるか。例えば、follow-up question を聞いてより詳しい情報を聞き出したり、他の学生のアイディアを発展させて会話を続けることができるかを評価します。</td></tr>
<tr><td>3. Test Unit</td><td>Unit 5, 10</td><td>0～60 ポイント／1Unit

Advanced 以外のレベル
（15 ポイント×4Can-do×2Unit=合計 120 ポイント）

Advanced
（30 ポイント×2Can-do×2Unit=合計 120 ポイント）</td><td>Unit 5 では Unit 1～Unit 4、Unit 10 では Unit 6～Unit 9 に設定された Can-do の達成度を、テキストの Speaking を使用したアクティビティーを通じて、それぞれ 0～15 ポイント（最大 60 ポイント）で評価します。
※Advanced の場合は各 Test Unit で評価される Can-do が 2 つずつのため、それぞれ 0～30 点（最大 60 ポイント）で評価します。
なお、Test Unit を 2 回欠席した場合は、合計で 7 回以上出席していても単位付与対象外となりますので、注意してください。</td></tr>
<tr><td>4. WeTEC</td><td>事前測定
成果測定</td><td>0～10 ポイント
（最大 10 ポイント）</td><td>レッスン期間前（グループ分けのための事前測定）とレッスン期間終了前後（成果測定）の合計 2 回の受験状況を以下の条件により評価します。（最大 10 ポイント）
(1) 事前測定および成果測定の両方を受験した場合・・・5 ポイント
(2) 成果測定のスコアが事前測定のスコアを超え、かつ成果測定のスコアが履修するレベルの最低基準点*以上であった場合・・・5 ポイント
A・B(または C・D)を連続履修する場合は、B(または D)の成果測定を受験することで、 A（または C）の成果測定を兼ねます。（A・B(または C・D)の両方にポイントが加算されます）

*各レベルの最低基準点は、以下の通りです。
<table>
<tr><th>Basic</th><th>Intermediate</th><th>Upper Intermediate</th><th>Advanced</th></tr>
<tr><td>354 点</td><td>620 点</td><td>800 点</td><td>875 点</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

■成績の修得条件

成績	A+	A	B	C
修得条件 （満点 394 点）	9 回以上のレッスンに出席し、かつ評価対象項目合計で 355 ポイント以上を取得	8 回以上のレッスンに出席し、かつ評価対象項目合計で 316 ポイント以上を取得	8 回以上のレッスンに出席し、かつ評価対象項目合計で 276 ポイント以上を取得	7 回以上のレッスンに出席し、かつ評価対象項目合計で 237 ポイント以上を取得

※出席回数が 6 回以下の場合、及び評価対象項目の合計取得ポイントが「236 ポイント以下」の場合は、自動的に F（不合格）となります。

6.2 出席・欠席の扱い

Tutorial English は、目標（Can-do）の達成度を評価する科目であるため、出席を重視します。原則としていかなる理由で欠席した場合も全て「欠席」として扱い、代替レッスンは行いません。遅延証明書等は受け付けません。

以下が「出席」、「欠席」の条件および注意事項です。

■出席
・45 分を超えて授業時間内に Waseda Moodle の Collaborate を通じてコミュニケーションが取れていれば出席となります。
・45 分以内の「遅刻/早退」に対する減点はありません。ただし、「遅刻/早退」した場合は Interaction または Can-do の評価を一部受けることができず獲得できる評価ポイントが少なくなる可能性があります。

■欠席
・通信の不具合、体調不良等に関わらず、授業時間内で 45 分を超えて Waseda Moodle の Collaborate を通じてコミュニケーションがとれなかった場合は、欠席とみなします。
・45 分を超える遅刻/早退は欠席扱いとなりますが、Preparation と Interaction、Can-do の評価を受けることは可能です。
・授業を欠席する場合でも、授業開始前であれば Preparation を解答することができます。
・欠席する際の事前連絡は不要です。

■その他
・欠席回数が 4 回となった時点で単位取得はできません（出欠席は Tutorial Canvas で確認することができます）。
・Test Unit を 2 回欠席した場合、欠席回数が 4 回未満でも単位取得はできません。

6.3 出欠席・成績評価上の特別配慮について

自然災害や伝染病等のため、大学全体が休講となった場合には、出欠席・成績評価上の特別配慮を行います。また、以下の理由で欠席した場合も、期日までに必要書類を以下の申請先に提出した場合に限り、出欠席・成績評価上の特別配慮を行います(それ以外の理由での出欠席・成績評価上の特別配慮は、一切行いません)。
特別配慮を行った場合でも、Preparation ならびに WeTEC については、履修者が提出したもの・受験した結果を評価の対象とします。できる限り提出・受験をしてください。

事由	必要書類	申請方法	申請先
忌引き (2親等以内)	「忌引きによる授業欠席等に関する取扱いのお願い」**(所属学部・研究科の押印がついたもの)**	所属学部・研究科より左記書類を入手し、右記申請先に提出	PDF ファイルにして以下のメールアドレスに添付送信　※その際、学籍番号、氏名、履修科目名を必ず明記 te-help@list.waseda.jp
学校感染症	学校感染症に関する「授業欠席(配慮)届け」**(所属学部・研究科の押印がついたもの)**	①　医師が発行した「学校感染症治癒証明書」を所属学部・研究科に提出 ②　所属学部・研究科より学校感染症に関する「授業欠席(配慮)届け」を入手し、右記申請先に提出	
教育実習 介護等体験	「講義欠席特別扱願」 (「実施証明書」)	教育学部事務所(16 号館 2 階)にて必要提出書類(左記)を入手し、右記申請先に提出。 **実習先の押印があるか確認してください。**	
裁判員制度	「裁判員制度に関わる欠席届」 **(所属学部・研究科の押印がついたもの)**	所属学部・研究科より左記書類を入手し、右記申請先に提出	

※　出欠席・成績評価上の特別配慮のレッスン回数の上限は 3 回です。この上限を超えた特別配慮の申請は、通常の欠席として扱われます。なお、通常の欠席回数が 4 回となった時点で単位取得はできません。

※　入院については、出席数が単位取得条件に満たない場合に配慮の対象となります。上記申請先に「医師の診断書」を提出してください。なお、入院による特別配慮を申請する場合に提出する「医師の診断書」には、学部事務所の押印は不要です。

※　部活動による欠席配慮はできません。

※　2022 年度は、Tutorial English をリアルタイム配信で実施します。
気象状況を理由とした大学全体の休校判断は、原則、対象キャンパスで「対面」で実施される授業のみに適用されるため、キャンパス外から履修可能なオンラインで実施される授業は対象にはなりません。自身の安全が確保されていることを確認した上で可能であればオンライン授業に出席してください。しかしながら、自身が受講する場所において、気象状況等の影響等により受講が困難であると判断し、受講を見合わせた場合でも、欠席の配慮を求めることができる場合があります。配慮を希望する場合は、所属学部による承認済みの欠席届を、上記申請先に提出してください。

※　2022 Tutorial English の授業と、他科目の期末試験の日程が重複した場合には、原則として、Tutorial English に出席してください。学部の未済試験を受験するための受講証明書を発行しますので、必要な場合は上記申請先にお問い合わせください。

出欠席・成績評価上の特別配慮の考え方

	特別配慮を申請したレッスン数	特別配慮が認められるレッスン数	特別配慮が認められないレッスン数 (通常の欠席扱い)	単位修得対象/不可 (特別配慮の申請以外に欠席がない場合を想定)
学生A	7	3	4	単位修得不可
学生B	6	3	3	単位修得対象
学生C	5	3	2	単位修得対象
学生D	4	3	1	単位修得対象
学生E	3	3	0	単位修得対象

■書類の提出期限

学　期	期　限	学　期	期　限
春クォーター	2022 年 6 月 3 日(金)	夏クォーター	2022 年 7 月 15 日(金)
秋クォーター	2022 年 11 月 25 日(金)	冬クォーター	2023 年 1 月 27 日(金)

※各学期の期間終了間近に感染症に罹患するなどにより、欠席届や証明書の提出が提出期限に間に合わないことが予想される場合は、上記の期日までにその旨をご相談ください。

※上記の相談がなく、提出期限を過ぎた場合は、受け付けません(配慮の対象となりません)。

6.4 レッスンの中止および補講

原則として、レッスンの休講はありません。ただし、大学全体が休講になり、レッスンが中止になった場合は、大学が定める方針に従ってください。補講（代替レッスン）等を行う場合には、MyWaseda より詳細をお知らせします。

LESSON ASSESSMENT GUIDELINES
（レッスン評価ガイドライン）

PREPARATION

To receive points, students should complete the unit Preparation online before each lesson. The majority of Preparation activities involve some form of listening comprehension, answering unit-related questions, or listing ideas for the unit. Completion of the online Preparation will help students build familiarity with the unit content and help them prepare to discuss this content in detail.

Preparation is scored between 0-12 points on 12 multiple choice questions, each worth 1 point.

E.g. 12 points: when all answers are correct.

5 points: when 5 answers are correct.

0 points: when the Preparation has not been completed, or when all answers are incorrect

Open-ended questions are not scored. However, answering these questions will allow students to consider the topic in advance, making the in-class conversations smoother and possibly improving students' in-class performance. Students should be prepared to share their ideas and responses to these questions in class.

INTERACTION

Interaction is based on the student's initiative and participation in all lesson activities. It is determined by the students' willingness to participate in all aspects of the lesson through turn-taking, active listening, and working with others. The criteria depends on the level. Each aspect of Interaction is scored as 0, 3, or 6 points.

Beginners

points	Turn-taking	Active listening	Working with others
6	The student answered questions	The student remained active when listening to others	The student contributed their ideas to class activities.
3	The student sometimes answered questions	The student was sometimes active when listening to others	The student sometimes contributed their ideas to class activities.
0	The student did not try to answer questions	The student was mostly passive when listening to others	The student did not contribute their ideas to class activities.

Basic

points	Turn-taking	Active listening	Working with others
6	The student started conversations	The student remained active when listening to others	The student asked others what they thought
3	The student sometimes started conversations	The student was sometimes active when listening to others	The student sometimes asked others what they thought
0	The student did not try to start conversations	The student was mostly passive when listening to others	The student did not ask others what they thought

Intermediate

points	Turn-taking	Active listening	Working with others
6	The student started and maintained conversations	The student remained active when listening to others	The student asked others to explain their ideas
3	The student sometimes started and maintained conversations	The student was sometimes active when listening to others	The student sometimes asked others to explain their ideas
0	The student did not try to start or maintain conversations	The student was mostly passive when listening to others	The student did not ask others to explain their ideas

Upper Intermediate

points	Turn-taking	Active listening	Working with others
6	The student maintained and balanced conversations	The student remained active when listening to others	The student helped develop others' ideas, making comments and asking questions
3	The student sometimes maintained and balanced conversations	The student was sometimes active when listening to others	The student sometimes helped develop others' ideas
0	The student did not try to maintain or balance conversations	The student was mostly passive when listening to others	The student did not help develop others' ideas

Advanced

points	Turn-taking	Active listening	Working with others
6	The student led and balanced conversations	The student remained active when listening to others	The student developed others' ideas and linked them to their own
3	The student sometimes led and balanced conversations	The student was sometimes active when listening to others	The student sometimes developed others' ideas
0	The student did not try to lead or balance conversations	The student was mostly passive when listening to others	The student did not try to develop others' ideas

CAN-DO for TEST UNITS

Students will be assessed their can-do performance on Unit 5 and Unit 10. There are 4 can-do for each Test Unit, and each can-do is scored as 0, 5, 10 or 15 points. Each Test Unit consists of 4 can-do×15 points = 60 points. Except in the Advanced level, where each Test Unit consists of 2 can-dos, 2 can-dos×30 points = 60 points.

Can-do criteria

Points	Criteria
15 points	The student demonstrated a high degree of competence with the Can-do by... ・using all aspects of the Can-do with a high degree of fluency and accuracy
10 points	The student demonstrated competence with the Can-do by... ・using all aspects of the Can-do
5 points	The student demonstrated limited competence with the Can-do by... ・struggling to demonstrate the Can-do ・failing to demonstrate all aspects of the Can-do
0 points	The student did not demonstrate any of the aspects of the Can-do

7. 不正行為等の取扱いについて

グローバルエデュケーションセンター（GEC）では、センター提供科目における試験、課題等に関して不正行為等を行った学生の取扱いを以下のように定めています。不正行為等に該当すると 判断された場合、成績評価に大きな影響を及ぼしますので、必ず熟読したうえで試験や課題等に 取り組んでください。

不正行為の定義

１．試験※１における不正行為

試験において、次のいずれかに該当する行為は不正行為とする。ただし、科目担当教員が特に許可した場合を除く。

（1）他人の代わりとなって受験すること、または他人を自己の代わりとして受験させること。

（2）不正使用の目的をもって作成された文書または電子ファイルもしくはその閲覧に使用する機器を試験場に持ち込むこと。

（3）使用が許可されていない書籍、ノート、メモその他の印刷物または機器を使用または参照すること。

（4）使用が許可されている物品の貸借

（5）身体、衣類、所持品または机、椅子その他試験場内の備品に試験に関連した内容を書き込むこと。

（6）答案の交換または他人の答案の利用（覗き見を含む。）

（7）他人の答案を写すこと、または自己の答案を他人に写させること。

（8）言語、暗号、動作または機器その他の情報伝達手段によって他人と連絡を試みること、または不正に情報を取得すること。

（9）偽名の記入、故意による無記名、答案用紙の破棄または許可されていない答案用紙の持ち出し等により、答案整理を混乱させようとすること。

（１０）試験終了後、答案に加筆修正などの変更を加えること。

（１１）試験監督員の指示に従わないこと。

（１２）その他試験の公正を害すると認められる行為

（１３）上記の行為を行ったものと疑われる行為をすること。

（１４）上記の行為を行うことを幇助すること。

２． 課題等※２における不正行為

課題等において、次のいずれかに該当する行為は、不正行為とする。ただし、科目担当教員が特に認めた場合を除く。

（1）他人の代わりとなって課題等に取り組むこと、または他人を自己の代わりとして課題等に取り組ませること。

（2）他人が取り組みもしくは取り組んだ課題等を筆写もしくは引き写し、または自己のものとして表示すること。

（3）自己が取り組みもしくは取り組んだ課題等を他人に筆写もしくは引き写させ、または他人のものとして表示させること。

（4）他人のアイディア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文、用語または知見を適切な表示なく流用すること。

（5）他人と共同で課題等に取り組むこと。

３．オンデマンド試験※３における不正行為

オンデマンド試験において、次のいずれかに該当する行為は、不正行為とする。

（1）他人の代わりとなってオンデマンド試験を受験すること、または他人を自己の代わりとして受験させること。

（2）他人と共同でオンデマンド試験を受験すること。

不正行為を行った者の成績評価

当該不正行為が行われた科目の成績評価を不合格評価とし、所属学部・研究科に報告する。

不適切な行為

次のいずれかに該当する行為は、不適切な行為とする。

（1）課題等またはオンデマンド試験に関し、上記に定める不正行為のほか、科目担当教員の指示に反する行為

（2）その他成績評価手段※４に関し、科目担当教員の指示に反する行為

（3）科目担当教員による公正な成績評価を阻害するすべての行為

不適切な行為を行った者の成績評価

不適切な行為が行われた科目の成績評価の取扱いは、科目担当教員および GEC の判断による。なお、不適切な行為が当該科目の成績評価の公平性を著しく害する場合には、不正行為者と同等の対応を受けることがある。

※１「試験」とは、科目担当教員による監督下で実施される理解度の確認ならびにそれらと同等であると位置づけられるものをいう。ただし、当該科目において主たる成績評価手段として周知されるものに限る。

※２「課題等」とは、レポート、発表、実演、実習、専門教育科目演習論文その他一定の成果の提出または提示を求めるものをいう。

※３「オンデマンド試験」とは、インターネット等のネットワークを利用して任意の場所で受験することが認められるものをいう。

※４「その他成績評価手段」とは、小テスト、感想文、出席票等をはじめとする、上記に定めるもの以外の成績評価手段をいう。

レポートにおける剽窃行為について

書籍や Web などの他人の作成した文章（Web ページに公開されている情報を含む）を自分のレポートとして提出することは許されません。一部分であったとしても、後述の出所の明示を含む引用の要件が満たされていなければ同様に許されません。上記に該当するレポートは試験におけるカンニング行為（他人の答案や持込が禁止されている資料を写すこと）と同様にみなされ、不正行為（前述参照）に該当します。不正行為が発覚した場合、該当科目やその時点で履修しているすべての科目の無効、Waseda ID の利用停止、停学など厳正な処分が所属学部・研究科から下されますので、十分に注意してレポートを提出してください。

レポートの一部に、他人の文章の一部を引用する、あるいは内容の一部を同一性が失わないように要約して引用する場合は、その出所を示し、自分の書いた文章 ではないことを明示する必要があります。また引用にはそのほかにも守る必要のあるルールがあります。これらを守らずに提出すると、剽窃にあたり、著作権法 に抵触します。

どのように引用すれば不正行為にならないか、以下に簡単なルールを示します。

引用が成立する要件

1 自己の記述と引用部分を明白に区分していること （例）引用の文章全体を「」（一重カギカッコ）でくくる
2 引用部分ごとに出所を明示すること （例）著者名、著書（あるいは論文や記事）のタイトル、当該ページ数（および出版社や出版年）など文献情報を明示する
3 引用部分の総和（合計）は文の総量に対し、従の関係にあること
4 引用する必然性があること

引用元、特に Web ページ上のものなどで「『自由に利用してかまわない』と書かれている」場合でも、「自分の文章ではないものを、自分の文章として提出する」行為そのものは剽窃に該当します。

新聞社・通信社のニュース、官庁の Web ページ、Web 上の辞典などレポート作成によく利用されますが、いずれも出所を明らかにせず引用の要件を満たさずに利用すれば、剽窃にあたりますので、注意してレポートを作成するように心がけてください。

8. キャンパスマップ

早稲田大学アカデミックソリューション事務所：
29-2 号館 2 階
(2022 年 6 月 6 日より移転しました)
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田 1-3-24

2022 年度は Tutorial English はリアルタイム配信形式
(オンライン授業)となります。

9. 授業に関する相談・お問い合わせ

授業に関する相談・質問は、以下へお問合わせください。お問い合わせの際は、各ウェブサイトにある「よくある質問」を事前に確認してください。

◆科目登録・成績に関すること

問い合わせ先： 早稲田大学グローバルエデュケーションセンター

問い合わせページ： https://www.waseda.jp/inst/gec/contact/

※必ず科目名、学籍番号、氏名、Waseda メールアドレスを明記してください。

問い合わせページ

◆レッスン評価、出欠の取扱いに関すること、Tutorial Canvas 利用方法、その他授業全般に関すること

※Tutorial Canvas の Inbox、Inquiry 機能を使用しての問合せには対応いたしかねますのでご注意ください。

問い合わせ先：早稲田大学アカデミックソリューション事務所（29-2 号館 2 階） ※2022 年 6 月 6 日に移転しました。

電話：03-5286-8030

よくある質問： https://led.w-as.jp/faq.html

問い合わせフォーム： https://otoiawase.jp/do/public/form/tutorialenglish/1

科目詳細： https://led.w-as.jp

よくある質問　問い合わせフォーム　科目詳細

※電話による対応時間： 月～金 9:00～17:30

※問い合わせフォームからの回答は、翌平日以降になる場合があります。テスト受験期間の最終日当日の質問や問い合わせについては、受験期間内に回答が間に合わない可能性がありますので注意してください。

※システム障害が疑われる場合は、問い合わせの前にまず【IT サービスナビ】 の「システム・メンテナンス情報」をご確認ください。

https://www.waseda.jp/navi/announce/2022/index.html

システム・メテナンス情報

※土日・祝日にシステム障害が発生した場合、障害発生日が成績評価に関わる課題提出の締切日となる履修者のみを対象に延長期間を設けます。なお、対象者には翌平日に MyWaseda にて課題提出の延長期間を記載したお知らせを配信します。内容をよく確認し、必ず延長期間内に課題を提出してください。

◆教職課程・施行規則第 66 条の 6 に定める科目（外国語コミュニケーション）について

Tutorial English は、教員免許状を取得するための要件として定められている科目（教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目（外国語コミュニケーション））の 1 つです。

詳しくは、教育学部教職課程の発行する「2022 年度教職課程履修の手引き」および所属学部の「学部要項」等を参照してください。

※「Tutorial English」の他にも、所属学部の設置科目および一部のグローバルエデュケーションセンターの言語科目が教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目の外国語コミュニケーションに該当します。

WeTEC 受験期間一覧

WeTEC（事前測定）

学期	履修者タイプ		期　間
春クォーター 夏クォーター	必修履修者	政治経済学部	2022年3月5日(土)～3月26日(土) 23:59
		商学部	2022年3月3日(木)～3月11日(金) 23:59
		社会科学部	2022年3月4日(金)～3月9日(水) 23:59
		人間科学部	2022年3月13日(日)～3月29日(火) 23:59
		スポーツ科学部	2022年3月13日(日)～3月29日(火) 23:59
		国際教養学部	2022年3月10日(木)～3月16日(水) 17:00
	選択履修者 ※学部の科目登録日程に準ずる	1次登録期間中に科目登録する場合	在学生：　2022年3月17日(木)～3月19日(土)17:00 新入生：　2022年3月29日(火)～3月31日(木)17:00 （所属学部により異なります）
		2次登録期間中に科目登録する場合 ※夏クォーターのみ登録可	2022年4月5日(火)～4月6日(水)17:00
		3次登録期間中に科目登録する場合 ※夏クォーターのみ登録可	2022年4月9日(土)～4月11日(月)17:00
夏季集中	必修履修者・選択履修者		2022年7月7日(木)～7月15日(金) 23:59
秋クォーター 冬クォーター	必修履修者	全必修学部 （ただし国際教養学部9月入学生除く）	2022年9月14日(水)～9月21日(水) 23:59
		国際教養学部9月入学生	2022年9月上旬にご案内
	選択履修者 ※学部の科目登録日程に準ずる	1次登録期間中に科目登録する場合	2022年9月20日(火)～9月22日(木)17:00
		2次登録期間中に科目登録する場合 ※冬クォーターのみ登録可	2022年9月28日(水)～9月29日(木)17:00
		3次登録期間中に科目登録する場合 ※冬クォーターのみ登録可	2022年10月3日(月)～10月4日(火)17:00
春季集中	必修履修者・選択履修者		2023年1月19日(木)～1月26日(木) 23:59

WeTEC（成果測定）

学期	履修者タイプ	期　間
春クォーター	春クォーターのみ履修した選択履修者	2022年5月26日(木)～6月3日(金) 23:59
夏クォーター	必修履修者・選択履修者	2022年7月7日(木)～7月15日(金) 23:59
夏季集中01(7月30日～8月10日)	必修履修者・選択履修者	2022年8月10日(水) 23:59
夏季集中02(8月23日～9月2日)	必修履修者・選択履修者	2022年9月2日(金) 23:59
秋クォーター	秋クォーターのみ履修した選択履修者	2022年11月17日(木)～11月25日(金) 23:59
冬クォーター	必修履修者・選択履修者	2023年1月19日(木)～1月26日(木) 23:59
春季集中(2023年2月4日～2月16日)	必修履修者・選択履修者	2023年2月16日(木) 23:59

WeTEC 受験が不要なケース

履修学期		タイミング	受験不要な方
春学期	春クォーター	事前測定	新入生WeTECの受験者
		成果測定	直後の夏クォーターを連続して履修する方
	夏クォーター	事前測定	直前の春クォーター履修者
		成果測定	なし（履修者全員必須）
夏季集中		事前測定	直前の夏クォーター履修者
		成果測定	なし（履修者全員必須）
秋学期	秋クォーター	事前測定	直前の夏季集中科目履修者（Writing Tutorial English除く）
		成果測定	直後の冬クォーターを連続して履修する方
	冬クォーター	事前測定	直前の秋クォーター履修者
		成果測定	なし（履修者全員必須）
春季集中		事前測定	直前の冬クォーター履修者
		成果測定	なし（履修者全員必須）

★WeTEC に関するよくある質問

Q WeTEC にログインできません

→ **WeTEC 受験対象者でない場合がありますので、上の表をご確認ください。**

→ **事前測定**

【クォーター科目の場合】

A･B･C･D の事前測定は科目登録期間中の受験となります。A･B･C･D いずれか 1 つ、または A･B(もしくは C･D)の 2 クォーター連続履修に関わらず、事前測定の受験は一回のみです。受験が完了した方はログインできません。

→ **成果測定**

A･B または C･D を連続履修する場合は、A もしくは C の成果測定の受験は不要なため、ログインできません。B または D の成果測定を受験することで A もしくは C の成果測定を兼ねます。B または D の成果測定のスコアが A もしくは C の WeTEC の成績評価として扱われます。

Q WeTEC 受験期間中に受験しませんでした。成績はどうなりますか

→ WeTEC は成績評価の一部となっています。詳しくは P.28 を参照してください。
未受験でも、科目履修は可能です。ただし、事前測定を受験しなかった場合は、適正なクラスで履修できない可能性があります。なお、WeTEC 受験期間以外での受験は認められていません。

オンラインレッスンに関するよくある質問と回答（Q＆A）

Q1. 自分のブース / レベルがわかりません

A Tutorial Canvas でご確認ください。詳しくは、（P.12, 13）を参照してください。

Q2. Tutorial Canvas を見ること、使用することができません

A ご利用のブラウザが最新バージョンであるかお確かめください。Tutorial Canvas を使用する場合、各種ブラウザの最新バージョンを利用してください。 なお、Internet Explorer は対応しておりません。

Q3. 家にプリンターがないので、Unit 1,2 のテキストの印刷ができません。印刷しなくてもいいですか？

A 家にプリンターがない場合は、最寄りのコンビニエンスストアなどで印刷してください。インターネットで「コンビニ　印刷」と検索するとコンビニエンスストアでの印刷方法が確認できます。レッスン中は、パソコン画面にチューターや他の学生が表示されるので、同時にテキストを画面上に表示させるのは難しいです。履修前にテキストを必ず印刷し、印刷したテキストを見ながら履修してください。

Q4. Waseda Moodle に接続できません。

A 推奨環境を満たしているか確認してください。それでも、接続できない場合は大学の IT サービスにお問合せください

MyWaseda ログイン
→グローバルメニュー「IT サービス」
→左のサービスメニュー「システムに関するお問い合わせ、申請（ヘルプデスク）」
→「問い合わせ/Support」
└「授業支援/Learning Support（Waseda Moodle）」
└Waseda Moodle に関するお問い合わせ（学生向け）/Inquiries of Waseda Moodle」

Q5. ブース番号はわかるのですが、Waseda Moodle 上に見つかりません。

A Tutorial English が行われる全キャンパスのブースが表示されているため、ページがわかれています。本履修ガイド P.20 に記載の表でご自身のブースが Waseda Moodle の何ページ目にあるか確認後、Waseda Moodle の「2022 Tutorial English オンライン授業」アクセスし、ページ下部にあるページ番号をクリックすることをお勧めします。

Q6. ブース番号はわかるのですが、Waseda Moodle 上に見つからず、「Tutorial English コースルーム ロックされています」のみが表示されています。

A 画面の倍率が大きくなっている可能性が考えられるため、「Ctrl」キーを押しながら、「＋」または「－」を押して拡大率を変更して確認してください。

Q.7 Waseda Moodle に接続できましたが、セッションに参加できません。

A 大学の IT サービスにお問合せください。(Q4.回答参照)

Q.8 授業が始まってもブースに誰も入室していません。

A 授業開始時にチューターが入室していない場合、Tutorial Canvas でブースを確認し、自身が正しいブースに入っているか確認してください。正しいブースに入っていても、チューターが入室していない場合は、以下にお問い合わせください。

te-help@list.waseda.jp

03－5286-8030（電話による対応時間：月曜～金曜 9：00－17：30）

Q9. 間違ったブースに入室してしまいました。

A の「ステータス及び設定」の「セッションから退出する」をクリックして、一度退出し、正しいブースに入り直してください。

Q10. 音声・画面の共有ができません

A ご自身のパソコンの設定を確認してください。解決できない場合は、大学の IT サービスにお問合せください。(Q4.回答参照)

Q11. Waseda Moodle に接続できず授業に参加できなかったのですが、出欠の特別配慮を受けられますか？

A 個別事由による配慮は一切行いません。

Q12. レベルが合わないのですが、レベルの変更はできますか？

A レベル変更はできません。
難しいと感じる場合には、予習・復習を十分に行ってください。

Q13. テキストはどこで購入できますか？

A P.14「テキスト購入」を参照してください。

Q14. テキスト A～D の難易度は違いますか？

A 難易度は同じです。

Tutorial English Lesson Calendar 2022

★ 履修クラス発表日 Class announcement

Unit 1 春・秋クォーター Spring/Fall Quarter

Unit 1 夏・冬クォーター Summer/Winter Quarter

1,2 夏季集中・春季集中 Summer/Spring Intensive

April

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13 ★	14	15	16
17	18 Unit 1 【春】	19	20	21 Unit 2 【春】	22	23
24	25 Unit 3 【春】	26	27	28 Unit 4 【春】	29	30

May

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6 Unit 4 【春】	7
8	9 Unit 5 【春】	10	11	12 Unit 6 【春】	13	14
15	16 Unit 7 【春】	17	18	19 Unit 8 【春】	20	21
22	23 Unit 9 【春】	24	25	26 Unit 10 【春】	27	28
29	30	31 ★				

June

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6 Unit 1 【夏】	7	8	9 Unit 2 【夏】	10	11
12	13 Unit 3 【夏】	14	15	16 Unit 4 【夏】	17	18
19	20 Unit 5 【夏】	21	22	23 Unit 6 【夏】	24	25
26	27 Unit 7 【夏】	28	29	30 Unit 8 【夏】	1	2

July

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1 Unit 8 【夏】	2
3	4 Unit 9 【夏】	5	6	7 Unit 10 【夏】	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 / 31	25 ★	26	27	28	29	30 1,2

August

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
	3,4	5,6	7,8	9,10	11,12	13,14
7	8	9	10	11	12	13
	15,16	17,18	19,20			
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
		1,2	3,4	5,6	7,8	9,10
28	29	30	31			
	11,12	13,14	15, 16			

September

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
				17,18	19,20	
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

October

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
						1
2	3	4	5	6 ★	7	8
9	10 Unit 1 【秋】	11	12	13 Unit 2 【秋】	14	15
16	17 Unit 3 【秋】	18	19	20 Unit 4 【秋】	21	22
23 / 30	24 / 31 Unit 5 【秋】	25	26	27 Unit 6 【秋】	28	29

November

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7 Unit 7 【秋】	8	9	10 Unit 8 【秋】	11	12
13	14 Unit 9 【秋】	15	16	17 Unit 10 【秋】	18	19
20	21 ★	22	23	24	25	26
27	28 Unit 1 【冬】	29	30			

December

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
				Unit 2 【冬】		
4	5 Unit 3 【冬】	6	7	8 Unit 4 【冬】	9	10
11	12 Unit 5 【冬】	13	14	15 Unit 6 【冬】	16	17
18	19 Unit 7 【冬】	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2023 January

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12 Unit 8 【冬】	13	14
15	16 Unit 9 【冬】	17	18	19 Unit 10 【冬】	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31 ★				

February

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
						1,2
5	6	7	8	9	10	11
	3,4	5,6	7,8	9,10	11,12	
12	13	14	15	16	17	18
	13,14	15,16	17,18	19,20		
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

土曜集中クラス（Saturday Intensive）

Unit	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10
春クォーター Spring quarter	4/23	5/7	5/14	5/21	5/28
夏クォーター Summer quarter	6/11	6/18	6/25	7/2	7/9

Unit	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10
秋クォーター Fall quarter	10/15	10/22	10/29	11/12	11/19
冬クォーター Winter quarter	12/3	12/10	12/17	1/14	1/21

注）土曜集中クラスは、土曜日1、2限または3、4限に、連続2時限履修するものです。

*Saturday Intensive courses are offered during 1st & 2nd periods and 3rd and 4th periods.

レベルとクォーターの組み合わせ（Level and Quarter）

	Spring	Summer	Fall	Winter
Basic	A	B	C	D
Intermediate				
Upper Intermediate				
Advanced	A	B	A	B